

平成 30 年度

能美市教育委員会の点検及び評価報告書
(平成 29 年度事業対象)

平成 30 年 9 月

能美市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに市民に公開しなければならないこととなっています。

そこで、能美市教育委員会では、同法の規定により、平成 29 年度の取り組みについて、自らその状況を点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター教授浅野秀重氏にご意見をいただき、まとめたものであります。

能美市教育委員会としては、点検・評価の実施を通して、施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めていきます。

平成 30 年 9 月

能美市教育委員会

目 次

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

- 1 教職員の資質並びに授業力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 豊かな心，確かな学力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3 教育支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 4 教育環境の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

施策2 青少年の健全育成

- 1 青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

施策3 生涯学習の推進

- 1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進 14
- 2 生涯学習活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 公民館活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 4 社会教育施設の運営・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

施策4 芸術・文化の振興

- 1 文化財の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 2 博物館の活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
- 3 文化振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

施策5 生涯スポーツの推進

- 1 競技スポーツの充実・強化・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
- 2 生涯スポーツの普及・振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
- 3 スポーツ施設の整備充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

- (1) 教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- (2) 教育委員の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

1 事務の点検評価

施策1 学校教育の充実

能美市教育施策の大綱に基づき、地域に根ざした学校づくり、次世代を切り拓く人材の育成をめざして、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育む学校教育活動を展開するための教育環境づくりを推進します。

また、学習指導要領に基づき、基礎・基本が確実に定着する授業づくり、活用力を培う授業づくり、考え議論する道徳の授業や特別活動の充実、いじめを許さない活力ある学校組織づくりを目指します。

1 教職員の資質並びに授業力の向上

平成29年度の主な取組

◇教職員研修事業（1,113千円）

能美市教育施策の大綱では、教職員の資質ならびに授業力の向上について、以下のように施策を進めることとしています。

確かな学力を育むために、学力調査の結果分析をもとに学力向上のための指導体制を確立し、各種研究会等を活性化することにより、教師の授業力向上を図り、子どもたちがわかる喜びを感じ、確実に学力が向上する授業づくりを進めます。

今日的な課題にあわせて、研修講座を開催し、教職員の資質・授業力向上を目指します。また、学校研究の推進のため、大学等から講師を招聘し、学校研究を充実させ、教職員の資質向上を目指します。

*研修講座ならびに講師招聘一覧（別予算も含む）

学校名	内容	講師名	所属等	開催日
	夏季教職員研修講座	菊知 充	金沢大学 子ども医療センター	8月10日
	夏季教職員研修講座	衣笠 知子	園田学園女子大学	8月21日
浜小	校内研究	石田 淳一	横浜国立大学	5月12日
浜小	学び組織的	石田 淳一	横浜国立大学	6月27日
福岡小	校内研究	青山 由紀	筑波大学附属小学校	8月9日
寺井小	校内研究	細水 保宏	明星大学	4月21日
栗生小	校内研究	白木みどり	金沢工業大学	6月16日
栗生小	いしかわ道徳	白木みどり	金沢工業大学	11月24日
辰口中央小	校内研究	青山 由紀	筑波大学附属小学校	8月9日

宮竹小	校内研究	水戸部修治	京都女子大学	5月23日
和気小	校内研究	盛山 隆雄	筑波大学附属小学校	5月24日
根上中	校内研究	杉田 洋	國學院大學	2月4日
寺井中	校内研究	柴原 弘志	京都産業大学	5月9日
寺井中	いしかわ道德	柴原 弘志	京都産業大学	9月4日 11月22日
辰口中	学校研究	田村 学	國學院大學	11月17日

評価

- ・平成29年度は、市主催の研修会は、下記の2点について国の動向を踏まえて実施しました。

- ①障害者差別解消法施行に伴う、インクルーシブ教育システムの構築のための理解
- ②小学校外国語活動の教科化（平成32年度完全実施）を見据えた授業力向上

①については法の理解と、保護者・児童生徒とどのように合理的配慮を決定していくのか研修を深めました。特別支援学級だけでなく、通常学級にも特別な支援を必要とする児童生徒がたくさんいます。個に応じた支援の在り方、教職員の指導力・対応力の向上は今後ますます求められます。

課題は、教員の経験年数等により、特別支援教育についての既得内容に幅があり、講義内容のレベルの照準を合わせることが難しい点です。

②の外国語の教科化は、授業時数の確保とともに小学校教員は大きな不安を抱えています。より実践的で具体的な研修内容は、参加者からも好評でした。教職員研修事業の他にも、能美市教育委員会指導主事を講師にした実践講座を開催しました。こちらも100名以上の参加者がありました。「明日の授業から使える内容」。このような日常の授業改善に直結する研修を今後も計画したいと思います。

- ・各学校が開催する校内研修会では、「主体的・対話的で深い学びの実現」「言語活動の充実」「道德教育の推進」等を目指した内容で実施されています。

実施校は市内の小中学校の教職員の参加を呼びかけることになっています。他校からの積極的な参加があり、市内全域で研修内容を広げることができました。

- ・各校1人の講師を招聘するこの事業は、ある一定の成果を得ることができたと判断します。

平成30年度からは、「各校1人の講師招聘」のスタイルから「市が研究校を指定し、研究校が継続して外部講師から指導を受け、成果を市内に発信し、共有する」という事業内容に転換します。（「能美市学びのベーシック事業」H30は国語1校、算数2校、外国語活動1校）外部講師からの継続した指導・助言を受けることにより、教師1人1人の授業力がより向上すると考えたからです。

○意見

平成 29 年度は、大きくインクルーシブ教育に関することと小学校の外国語教育に関することという大きく 2 つのテーマに特化した研修を重点的に行ったものと思います。

各学校の校内研修に、市内の他校からも積極的な参加があったとのことですが、講師の選任においてもテーマの設定においても多方面に及ぶ様々な学びの機会となるよう、各学校間で調整等があるのであれば、さらに研鑽の内容の拡がりや深まりが期待できるのではないかと思います。

評価欄記載の、平成 30 年度から、「外部講師から指導を受け、成果を市内に発信し、共有する」という方法に転換するとのことですが、教職員自身の「学び」の成果は、児童・生徒に豊かな人間性や社会性を育む結果をもたらすものであるとともに、教職員自身を内発的に動機づけるものと思いますので、さらなる研究機会の拡充にご尽力くださるようお願い申し上げます。

2 豊かな心、確かな学力の向上

平成 29 年度の主な取組

◇フォローアップ事業 (2,565 千円)

能美市教育施策の大綱では、児童生徒に対して確かな学力を育む教育の充実について、以下のように施策を進めることとしています。

変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生き抜くために、学ぶ楽しさを感じさせる授業づくりを目指します。基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などの能力を育みます。また、子どもたちが主体的・能動的に学習に取り組むための教育を充実させます。

本市では、平成 20 年度より市内の小学校 4・5・6 年生の希望者に対し、根上・寺井・辰口地区の 3 会場で地域の人材を活用し、土曜日に実施しています。算数科を主として、自学自習の確立をモットーに学習習慣の定着、学力向上を目指します。

これまでの参加が、3 会場に自宅が比較的近距離の児童に限られている傾向があったため、平成 28 年度からは、地域連携強化と参加しやすさを目指して会場は小学校 8 校の公民館等で実施しました。参加学年も 3 年生以上とし、対象を広げました。

また、土曜フォローアップの他に、各校のニーズに応じて、様々な補充学習が行われています。

*会場 (平成 28 年度から) 各小学校近隣の公共施設

*講師数 28 名

*参加児童数の推移 (1 学期の申込状況)

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 22 年度	57	42	36	135

平成 23 年度	47	59	49	155
平成 24 年度	38	53	47	138
平成 25 年度	39	45	42	126
平成 26 年度	31	28	60	119
平成 27 年度	27	21	25	73
平成 28 年度	58	32	93	147

(前期の申込状況)

	根上地区	寺井地区	辰口地区	合計
平成 29 年度	36	55	40	131

* 上記外の補充学習状況

①浜小学校

- ・ 2年～5年朝自習等（ガンバモーニング・ガンバ放課後）で毎週（火・水・木・金）

②宮竹小学校

- ・ 1年～6年昼検定

③和気小学校

- ・ 放課後学習

評価

- ・ 会場が 8 会場に増えたこと、児童が自分で通えるようになったことは、保護者や児童アンケートからも肯定的評価を受けています。
- ・ 満足度調査
 児童： 満足 90% やや満足 9% やや不満 1% 不満 0%
 保護者： 満足 92.8% やや満足 3.1% やや不満・不満 0% 無回答 4.1%
- ・ 講師として参加していただいている地域人材（退職教員・地域の有識者など）の確保が難しい状況です。29年度は、教員志望の大学生にも講師になっていただいています。会場を 8 校に増やした分、講師を確実に確保することが今後の課題です。

◇心の教育（人間関係力）推進事業（1,926 千円）

「心の教育推進事業」として、道徳教育・特別活動を各学校での重要な領域と位置づけ、すべての教育活動をトータルに進めていくことが大切であると考えます。

昨今、人間関係づくり（人間関係力）の未熟さなどが原因となり、いじめ・不登校などの生徒指導上の問題が発生したり、規範意識やモラルの低下が叫ばれたりしています。より良い学校生活と友達づくりのための Q U アンケートを小学校 4 年生から中学校 3 年生までの全員に実施し、児童生徒一人一人の成長とすべての教育活動の要としての「学級づくり」に有効に活用し、心の教育のさらなる充実を図ります。

- *目的 一人一人の児童生徒の内面をつかむためにアンケートを行い、人間関係力の醸成、親和的な学級集団づくりを目指す。
- *対象学年 小学校4年生～中学校3年生全員
- *実施回数 年間2回（6月・11月）
- *実績 「親和的な学級」に属する学級数の割合

	6月実施	11月実施
平成24年度	52 %	61 %
平成25年度	55 %	64 %
平成26年度	49 %	54 %
平成27年度	50 %	54 %

※平成26・27年度は評価方法に変更あり

「学校生活満足群」に属する児童生徒の割合

	6月実施	11月実施
平成28年度	59 %	61 %
平成29年度	58 %	61 %

※平成28年度から評価観点が変更

評価

- ・QUアンケートの結果は学級集団の実態把握に有効であり、学校組織・学級担任の指導の手立てを検証し、人間関係力を高める取組を充実させています。
- ・本市においても、いじめや不登校に関する問題は学校教育の課題です。特に、不登校が高止まりの傾向にあることを重く受け止めています。本市のいじめ防止基本方針においても、QUアンケートを積極的に活用することとなっています。いじめ・不登校問題に関して早期発見・早期対応・未然防止のために今後も有効活用していきたいと考えます。

意見

フォローアップ事業ですが、平成28年度から会場を小学校8校の公民館等、対象学年を3年生以上、実施日は土曜日を基本とするなど、希望者が参加しやすいように配慮された継続的な試みであると思います。参加児童やその保護者の皆さんから肯定的な意見が寄せられているように、この事業は、地域ぐるみで「地域の子どもを育てる」という環境の醸成にも寄与するものと思います。

また、住民の経験という広義の意味の「学習の成果」を活かす機会を提供するとともに、その舞台を公民館が提供するというもので、この事業を通じて、子どもたちは、指導者としてご協力いただける地域の様々な「意味ある他者」と出会うことができたのではないかと思います。講師としての地域人材の確保に困難が伴う、とのことですが、実施する事業の意義を理解していただくような啓発活動に取り組みながら、さ

らなる裾野の拡大にご努力いただきたいものです。講師としてご協力いただける方の存在は、ありがたいことですね。

心の教育（人間関係力）推進事業については、児童・生徒の間に励まし合い、学び合い、高め合い、支え合いという雰囲気創られるようお願いしたいものです。QUアンケートは、子どもが自己を見つめ直して内省したり省察したりする機会にもなっているものであり、彼ら彼女らの道徳性の形成にも寄与する側面を有していると思いますので、今後ともその有効な利活用を願っています。

平成 30 年度からは小学校で「特別の教科 道徳」が実施され、平成 31 年度からは中学校で「特別の教科 道徳」が実施されます。実施授業時数 35 時間という「特別の教科 道徳」における「考え、議論する」授業を中心としながらも、学校におけるあらゆる場面や機会において、豊かな人間性や社会性を育むという思いを教職員が抱きながら日々の教育活動が推進されること、さらに、地域教材の開発や地域との連携による多様な体験活動の推進は、必ずや児童・生徒に豊かな人間性や社会性を育む結果をもたらすものと思います。

親和的な雰囲気の学級づくりを一層推進することによる学校生活満足度のさらなる高まりを願っています。

3 教育支援の充実

平成 29 年度の主な取組

◇特別支援教育支援員配置事業（36,511 千円）

能美市教育施策の大綱では、特別な支援を必要とする子どもたちの主体的な社会参加や自立を目指し、一人一人のニーズに応じた教育の充実に努める方向性を示しています。現在、市内の小中学校においても、学習障害、注意欠陥・多動性障害、高機能自閉症など、発達障害またはその疑いのある児童生徒が在籍しています。

特別な支援を必要とする児童生徒や、周囲の児童生徒の学びやすさや居場所づくりなどのためにも、特別支援教育支援員の役割は重要です。

*特別支援教育支援員配置人数

	小学校	中学校	合計
平成 24 年度	16	3	19
平成 25 年度	19	3	22
平成 26 年度	20	5	25
平成 27 年度	21	5	26
平成 28 年度	20	8	28
平成 29 年度	23	8	31

評価

- ・特別な支援を必要とする児童生徒数は増加傾向にあります。本市の小中学校は、特

別支援教育支援員の配置により、個のニーズに合わせた指導が丁寧に行われてい
ます。

- ・市教育センター，市子ども発達支援センター等との関係機関との連携を重視して
います。月に1回，市他課も交えての情報交換会があります。
- ・特別支援教育支援員に対する研修を充実させています。年間2回の研修会を開催し
ています。
- ・平成28年4月より，障害者差別解消法も施行されました。このことにより学校教育
においても「合理的配慮の基礎となる環境整備」および児童生徒個人への「合理的
配慮」が法的に義務づけられました。本市でも，特別支援を必要とする児童生徒の個
別の教育支援計画を立て，合理的配慮の内容を保護者との合意を得ながら決定して
います。
- ・学校の特別支援教育支援員のニーズは高く，人材確保が今後の課題です。

○意見

特別支援教育は，発達障がいや多動性障がいなど学習や行動面で特別な支援を必要
とする児童・生徒だけではなく，必ずしも支援を必要としない児童・生徒に対しても，
教育効果をもたらす，ということが「成果」に示されているものと思われま

す。支援員のスキルアップの機会の設定など，今後とも取組を強力に進めていただきたく
存じます。併せて保護者の子育てや就学に関する相談についても引き続きご尽力賜
り，保護者の皆さんの不安や心理的負担の軽減につとめてくださるよう期待いたしま
す。特別支援教育支援員の漸次的な増員も，評者としては大いに歓迎いたします。

4 教育環境の整備充実

能美市教育施策の大綱では，教育環境の整備充実について，小中学校の校舎等の整備
状況を踏まえ，体育館の耐震補強や改修工事等による学校施設の安全性と機能向上を図
ることとしています。

平成29年度の主な取組

学校施設の安全性と機能向上を目指し，小学校の非構造部材（吊り天井等）の耐震化
に向けた実施設計や，老朽化に対応した改修工事を実施しました。

◇浜小学校施設整備事業 (グラウンド表層処理，雨樋改修)	2,054千円
◇福岡小学校施設整備事業 (プールろ過機取替，ガス遮断弁取替)	8,209千円
◇寺井小学校施設整備事業 (煙突改修工事实施設計，給食室給水・ガス配管更新)	3,720千円
◇湯野小学校施設整備事業	4,384千円

(給食室エアコン取替, グラウンド法面整備)	
◇粟生小学校施設整備事業	618 千円
(煙突改修工事実施設計, 受水槽改修)	
◇辰口中央小学校施設整備事業	4,582 千円
(トイレ換気扇取替, プールろ過機モーター取替)	
◇宮竹小学校施設整備事業	2,624 千円
(掲揚ポール及び掲揚台補修, 屋上庇改修)	
◇和気小学校施設整備事業	27,662 千円
(普通教室改修, 地下タンクライニング改修)	
◇粟生小学校大規模改造事業	223,560 千円
(内部改修, 屋上防水改修, トイレ改修, 照明取替)	
◇和気小学校非構造部材耐震補強事業	1,966 千円
(実施設計)	
◇根上中学校施設整備事業	4,547 千円
(給食室床改修, 煙突改修工事実施設計)	
◇寺井中学校施設整備事業	34,806 千円
(駐車場整備, グラウンド防砂フェンス設置)	
◇辰口中学校施設整備事業	985 千円
(集会室空調改修, ボイラー改修)	

評価

・東日本大震災発生以降, 全国的な懸案事項となっています学校施設の非構造部材(吊り天井等)の耐震化について, 吊り天井を有する市内小中学校 9 校の体育館・講堂のうち, 耐震化が未完了となっていた和気小学校の実実施設計が完了しました。H30 年度に耐震工事を実施し, 安全安心な学校施設の整備を図っていきます。

・市内の学校施設は, 昭和 40 年代のほぼ同時期に鉄筋コンクリート化が図られてきたため, 建築から 40 年以上を経過した校舎・体育館が大半を占めており, 老朽化対策が大きな課題となっています。H29 年度は粟生小学校の大規模改造工事を実施し, 老朽化対策に加え, 多目的トイレの整備や特別教室の個別空調整備など, 教育的ニーズや防災機能を考慮した整備を実施しました。

・今後はこうした老朽化対策を計画的かつ着実に実施していくため, H30 年度に学校施設ごとの中長期的な整備計画を盛り込んだ, 「学校施設長寿命化計画」を策定する予定です。

○意見

学校は, 児童・生徒が一日の大半を過ごす「学び, 生活の場」としての「公の施設」であり, 安全性と耐久性, 快適性を併せ持つことが大切です。

通学路に面したプール囲繞ブロック塀の倒壊による女子児童の死亡事故が報じられていましたが, 通学路も, 児童・生徒にとってもセーフティロードであるよう日常的な点検

に努めたいものです。児童・生徒が登下校時に「ヒヤリとしたこと、ハッとしたこと」などの生の声を直接聴取する機会を設け、対策に活かす取組などはいかがでしょうか。

さらに防災訓練、避難訓練は、急迫不正の事態に備える重要な体験的学びの機会であり、危機管理マニュアルの整備・見直しを含む防災・減災に資する対策は「待った無し」であるとともに、発災の予測も困難であることに鑑み、日常的な意識形成への取組を期待いたします。

また、発災時、学校施設は地域住民の避難所となる場合があるので、恒常的な施設の整備・点検に努め、耐震化の促進に留まることのない、「瑕疵のない長寿命の公の施設」であるよう望みます。

施策2 青少年の健全育成

青少年の心豊かな人間性を育む地域形成を目指し、地域・学校・家庭が相互に連絡・協力し、地域活動の体験・研修を推進します。

1 青少年教育

平成29年度の主な取組

◇ 青少年健全育成事業（361千円）

- ・ 各種会議
 - ◇ 青少年健全育成センター運営協議会の開催
- ・ パトロール
 - ◇ 夏休み期間中及び、七夕まつり、辰口まつりの際にパトロールを実施
- ・ あいさつ
 - ◇ 市内小学校5年生にあいさつ標語を募集
424作品の中から入賞作品を決定【最優秀賞（8名）優秀賞（8名）】
最優秀賞作品については看板を作成し、各小学校に掲示

◇ 心の教育関連事業（3,706千円）

- ・ ふれあいあいさつデー
 - ◇ 毎月15日を「あいさつデー」とし、各町で公民館、学校PTAを中心に実施
 - ◇ 8月31日(木)～7日(木)を強化週間として平日6日間に開催（延べ約3,240人が街頭に立つ）
 - ◇ あいさつデー啓発ポスターは寺井中学校3年生 徳田 楓さんの作品を採用
- ・ 野外体験
 - ◇ 教育部門と福祉部門とが連携し、結成した児童・子育て専門部会が主催する、親子野外活動「ザ☆スノークラリー ～雪と遊ぼう～」を開催しました。

本活動は、親子で自然と交わる機会を増やし豊かな心の子どもたちを育てることを目的とした親子の野外活動です。

親子 40 組 110 名が参加し、子どもから大人までウォークラリー形式で、4 つの雪遊び（そり、的当て、カプセル探し、雪だるまづくり）を順番に巡って楽しんでいました。子どもも大人も夢中になって遊び、子どもたちの健康な身体づくりと親子での思い出づくりに貢献することができました。

・ コミュニティスクール事業

- ◇ 多様な価値観のもと、社会がますます複雑多様化し、能美市でも子供を取り巻く状況は変化してきました。学校は様々な課題を抱えるとともに、多くの役割が求められています。
- ◇ このような中、平成 27 年度から市内全小学校で「地域とともにある学校」づくりの実現に向け「学校地域元気アップ事業」を実施し、平成 29 年度からは「コミュニティスクール事業」をスタートしました。
- ◇ 市内全 8 小学校に「学校運営協議会」を設置し、学校運営協議会委員が各学校方針を理解し、学校の課題・目標を共有しながら学校方針の実現に力を注いでいます。

評価

- ・ 毎月 15 日を「ふれあいあいさつデー」とし、あいさつ運動を実施することによって、小・中学生の規範意識を高めています。15 日以外にも、自主的にあいさつ運動を実施している町会・町内会もあり、市民の中で心の教育をあいさつからはじめるといった意識がみえてきています。
- ・ 能美市のお祭り（根上七夕まつり、九谷茶碗まつり、辰口まつり）と子供たちの夏休み期間中に、パトロールを実施しています。実施中に声かけを行う場合は、多くはないですが、時間帯の変更や、人数の見直しを検討しつつ、今後ともパトロールを継続し、青少年の非行防止活動に地道に取り組んでいく必要があります。
- ・ 親子 40 組 110 名を対象に、親子野外活動を実施しました。自然と交わる機会を提供し、子どもたちに外で遊ぶことの楽しさを伝えられる良い活動になったことがうかがえます。
- ・ 今後も、さらなる子どもの健全育成のため、親子対象のイベントを実施し、みんなで協力しながら、いきいきと体を動かすことで、たくましく豊かな心の子どもの育成に努めていきます。
- ・ 平成 29 年度は、「学校地域元気アップ事業」を継承・発展させたコミュニティ・スクール事業のスタートとなりました。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換するための仕組みです。これまでの学校支援だけではなく、地域住民や保護者が校長の作成した「基本方針」に基づき、学校運営に対する当事者意識を分かち合い参画し、ともに行動する体制を構築することを目的としま

す。そして、さらなる学校と地域、保護者の連携・協働を図りながら、地方創生及び将来を担う能美市の子供たちの成長を育みます。

○意見

能美市では、毎月15日を「あいさつデー」として、あいさつ運動を通して子どもたちの規範意識・人間力の形成に努められていることと思いますが、運動の市民へのさらなる拡がりを期待いたします。

野外体験活動については、平成29年度は、冬季、40組110人の参加があり、盛況であったかと存じます。この事業がどのように企画されているのかを評者は寡聞にして知りませんが、根上地区、寺井地区、辰口地区を体験活動のフィールドにした企画などはいかがでしょうか。

平成29年度からスタートした「コミュニティスクール事業」ですが、それぞれの地域の事情により、取組に差異はあろうかと思えます。地道な活動を重ねながら、学校と地域との連携事業のより良い在り方を見出し、今後より一層取組が奨励されるであろう「地域学校協働活動」の基盤づくりをめざしていただきたいものです。

地域のことに関心を向け、保護者以外の地域の大人と接する機会となるこれらの事業は、学校からも地域からも要望のある事業と思われまます。その事業の中で、「地域の子どもを地域で育てる」環境の醸成につないでいただければ、と思えます。

施策3 生涯学習の推進

市民一人ひとりの生きがいや心の豊かさを実現するため、学習環境づくりや公民館活動などを核とした連帯と活力ある地域づくりを推進します。

1 これからの国際化社会の中で活躍できる人材の育成と国際化の推進

平成29年度の主な取組

◇国際交流推進事業（1,698千円）

- ・国際交流イベントの開催

市内小学生を対象にハロウィンパーティ(10月、参加者数294人)とイースターパーティ(3月、参加者数95人)、親子向けに海外の文化を体験するロシア風新年会(12月、参加者数100人)を開催しました。

- ・外国語講座、日本語教室の開催

国際交流に必要とされるコミュニケーション能力をつける外国語講座として、国際交流担当職員による英語講座初級(参加者数28人)、English Only Class(参加者数25人)、初歩ロシア語講座(参加者数17人)、国際交流サロン(延べ参加者数168人)を開催しました。

言葉が通じないことで発生している、生活の不便を解消するために、市内在住・在勤・在学の外国人を対象に市内3会場で日本語教室を開講しています(延べ受講者数2,209

人)。教室の講師を養成する日本語教室講師養成講座（後期課程）を開催しました（修了者数 14 人）。

・ジャパンテント

世界様々な国と地域から石川県を訪れた約 300 人の留学生と県民との交流を深める「第 30 回記念 JAPAN TENTー世界留学生交流・いしかわ 2017」が開催されました。本市では 18 ホストファミリーが 23 名の留学生を 3 泊 4 日の日程で受け入れました。古九谷写し体験、辰口まつりのじょんから踊りコンクール参加など、「能美市ならではの」のプログラムで留学生をもてなしました。

・ボランティア通訳制度

外国人市民の生活を支援することを目的として実施を開始した「能美市ボランティア通訳登録制度」は、4 言語・19 人の登録があり、市内学校や市民団体が開催するイベントなどへ派遣しました(6 件)。現在では、幅広く市民と在住外国人のコミュニケーションもサポートしています。

◇関連団体交流活動等支援（140 千円）

市内の国際交流活動を行う 2 団体（能美市日中友好協会、N o m i 国際交流協会）に対し、活動補助金を交付しています。

評価

国際交流担当職員が中心となり、市民が交流国の文化に触れる機会や国際交流に必要なコミュニケーションツールとして語学を学ぶ場を創出し、国際理解推進の機会を整えています。国際交流サロンなどの交流イベントや保育園・学校訪問、各種団体と連携した事業開催など、市民と在住外国人との交流機会づくりの場を創出していきます。国際理解活動を推進し、国際感覚の醸成と国際化に対応できる人材の育成に努めていきます。在住外国人の地域参加や生活を支援するため、市内全域で日本語を学ぶ機会を創出しています。また、講師不足を解消するため、日本語教室講師養成講座（後期課程）を開催し、14 名の受講生が修了し、現在、日本語教室の講師として精力的に取り組んでいます。

○意見

グローバル化の時代への対応を視野に、国際交流イベント、外国語教室、日本語教室講師養成講座、通訳ボランティア登録制度、国際交流活動団体への支援、地域に居住する外国人とのイベント等を通じた交流は、市民にとって世界と関わること、世界の中の日本、「能美市と世界」を考える意識啓発の契機になります。

今後とも、多文化理解・多文化共生の促進に寄与する、国際化に係る学習機会の充実に積極的に取組まれますよう期待いたします。

2 生涯学習活動

平成 29 年度の主な取組

◇まなびフェスタ 2018 (477 千円)

日 時 平成30年2月18日（日） 午後1時から
会 場 根上総合文化会館 根上学習センター 辰口福祉会館 北陸先端科学技術大学院大学
趣 旨 市民が一体となってまちづくりをしていくためには、市民一人ひとりが地域社会の構成員として自主的に活動し、実践していくことが重要です。本会は、市民がお互いに話し合い、体験する中から新しいまちづくりが推進されることを目的としています。

◆分科会 (8 つ…260 名参加)

身近な生活課題をテーマに、子供から大人まで参加できる 8 つの分科会を設けました。参加者に自分のスキルアップや勉強の時間として活用してもらおうことを目指しています。

No.1 分科会

「やめられない とまらない カロ〜リング」
～誰でも気軽に楽しいインドアスポーツ～

No.2 分科会

「終活」を学ぶ 実践編 3
～片づけから始める終活～

No.3 分科会

「能美の木の木琴づくりと音あそびワークショップ」

No.4 分科会

「西田幾多郎に会う」

No.5 分科会

「簡単！ポリ袋で防災食」

No.6 分科会

「すくすく子育て・孫育て」
～最近の育児を知ってママをサポートしませんか!?!?～

No.7 お試し体験講座

「子どもの未来はここにある」
～能美市コミュニティ・スクールからの発信～

No.8 「新しい博物館の体験活動を考えてみよう！」

◆お試し体験講座（4つ…154名参加）

文化活動等を気軽に体験できる4つのお試し体験講座を設けました。参加者が生涯学習活動を始めるきっかけになることを目指しています。

No. 9 お試し体験講座

「楽器演奏体験会」

No. 10 お試し体験講座

「いろんな国の人と語ろう！能美市のホットスポット！！」

No. 11 お試し体験講座

「シールはがしとピカピカ窓そうじ講座」

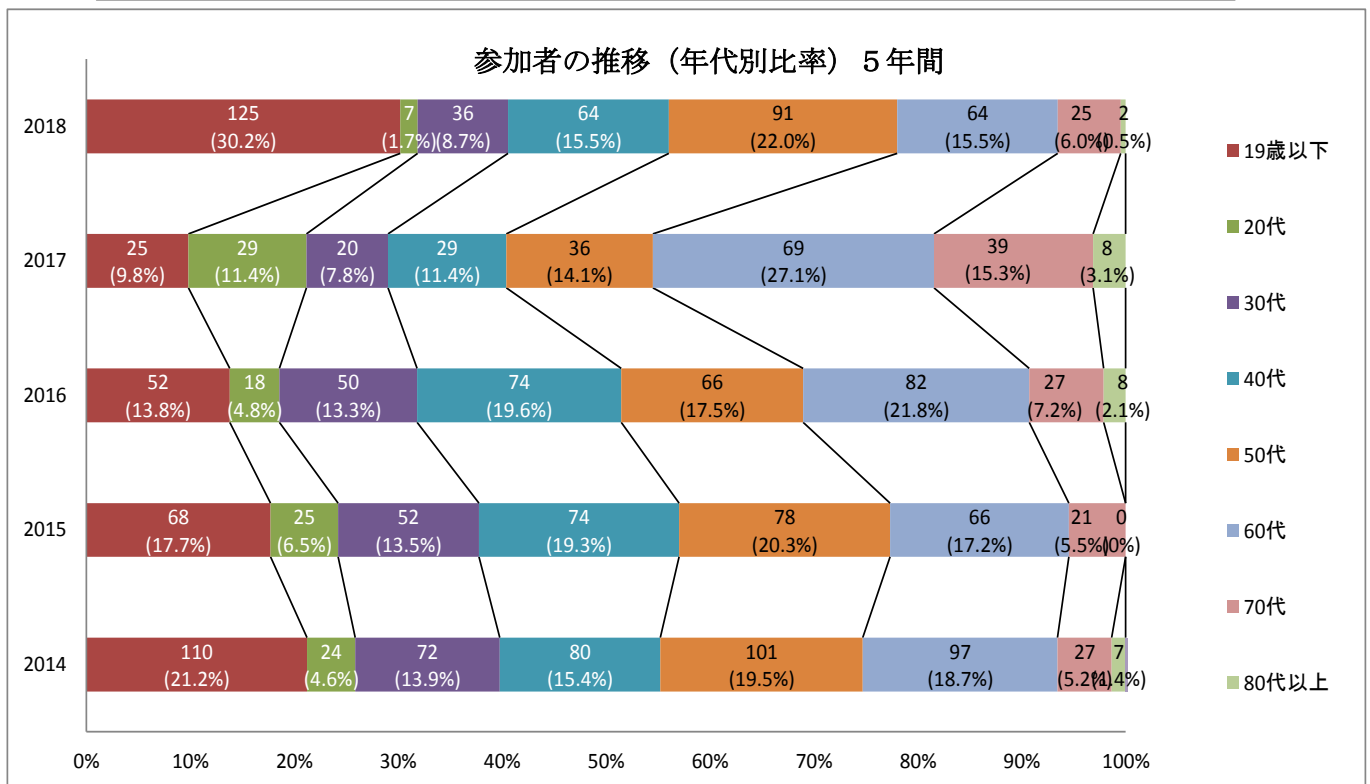
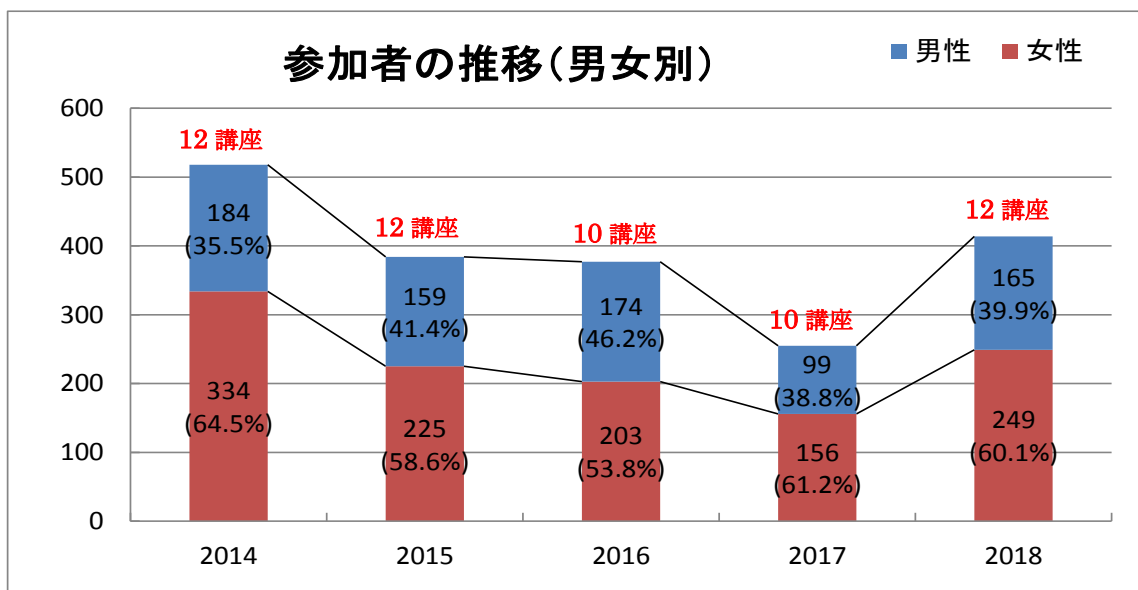
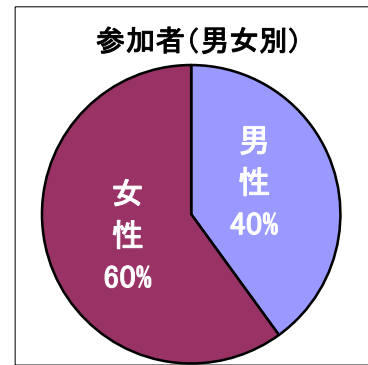
No. 12 お試し体験講座

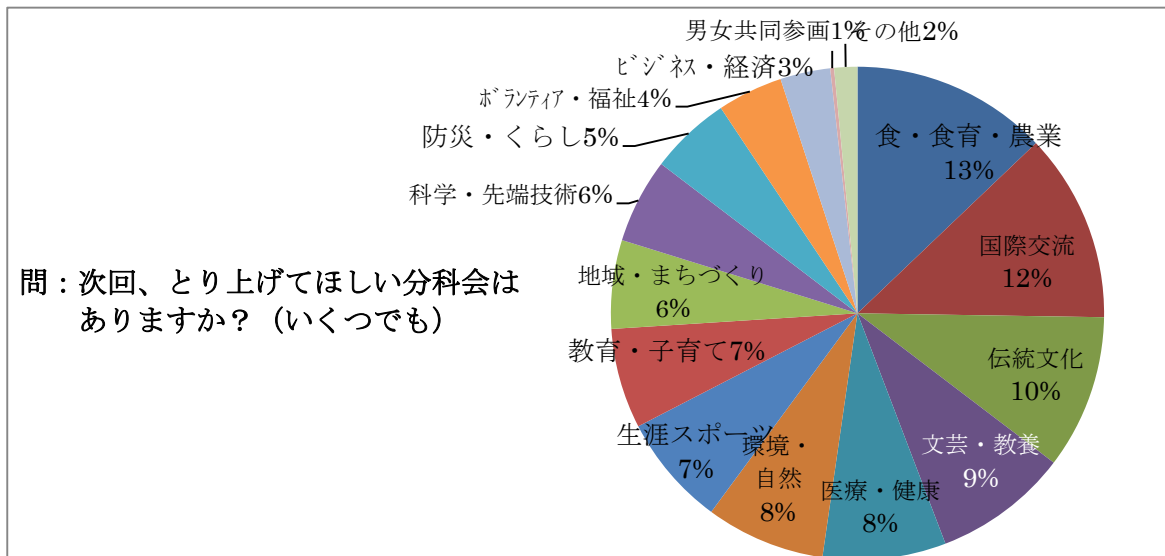
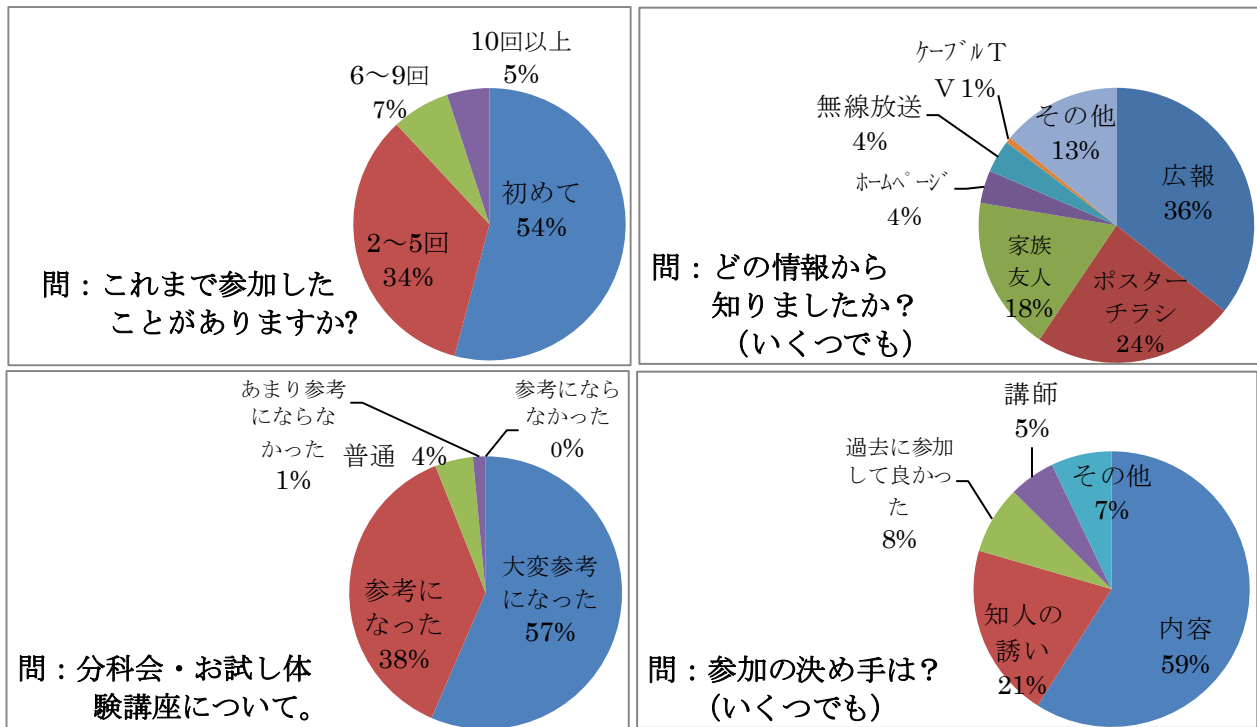
「楽しく手作りアルバム スクラップブックング教室」

◆参加者アンケートより

- ・とても楽しく参加する事ができました。シンプルながらも奥が深いスポーツでした。
- ・解りやすく、取り組んでいこうという気持ちになり、「今」からという言葉に、行動に移そうと思いました。受講してよかったです。
- ・自分で作った木琴で音楽を奏でる事が出来てとても楽しかったです。また参加したいです。
- ・名前しか知らなかった偉人の生活や人柄の一端を知ることが出来て、「善の研究」に挑戦しようと思いました。まさに「出会う」機会になりました。詳しく話術も巧みな講師でした。おかげで2時間楽しく過ごせました。
- ・災害時に役立つ知識をつけることが出来、良かったです。家でも出来そうな事なのでぜひ家でやってみたいと思います。
- ・分からない事も一緒に聞けて、勉強になりました。おもちゃ作りが楽しかったです。気楽に参加しやすい雰囲気でした。
- ・子供と一緒に参加できて、とても楽しかったです！
- ・触れてみたかった楽器を色々体験できてよかったです。
- ・日本人は外国語というと英語と思いがやすいので、”そうではないたくさん外国人、外国語に接する機会” になって良かったと思います。
- ・プリントした写真の楽しみ方が増えました。

No	分科会	人数	No	お試し体験講座	人数
1	カローリング	45	9	楽器体験	97
2	終活	14	10	国際交流	42
3	木琴づくり	54	11	窓そうじ	6
4	西田幾多郎	26	12	アルバム	9
5	防災食づくり	40	お試し体験講座 合計		154
6	子育て・孫育て	13			
7	能美市CS	43			
8	新博物館	25			
分科会 合計		260	合計参加者数		414





評価

○まなびフェスタ

未就学の子どもから 80 代の高齢者まで、幅広い年齢層の方にご参加いただきました。年々減少傾向にある参加者数は、分科会の数が増えたこともあり増加しました。

参加者アンケートでは、95%の方に「参考になった」と回答いただき、大多数の参加者は内容に満足していることがうかがえます。「学んだ内容を家庭や地域に持ち帰って広めたい」という感想も見られ、まなびフェスタが各種地域活動への参画や地域の方々と

の交流を促進する機会となっていることを期待します。

今回は、のみ商業協同組合の協力を得て、「まちゼミ」のまなびフェスタ出張版を2講座開講しました。本来のまちゼミは、お客さんが実際に店舗に足を運んで講義を受ける形ですが、特別にまなびフェスタの会場で実施していただきました。

今後も新規参加者やリピーター獲得のため、地域団体や事業所等と協働し、内容の充実に努めます。

○意見

学びフェスタは、地域住民の「学び」の成果の発表の場、「学び」を体験・交流する機会でもあります。「学びの成果を活かした社会参加を」とよく言われます。昨年度、教育委員会が行う事業と関連した団体に限らず、首長部局の事業と関わる団体や組織の参加等による広義の「生涯学習」フェスタを提起しましたが、「能美市の未来を語るフェア」「能美市学びとまちづくりフェア」などはいかがでしょうか。

ところで、学びフェスタのような、文化事業は町民の豊かな感性を育て、活動する喜びを実感させ、さらなる活動へと動機づける励みの機会となるものと期待されるのですが、文化活動に関わる、あるいは関心を寄せる方々の裾野を少しでも広げるような取組の可能性をご検討いただくと良いかと思えます。

また、参加者対象のアンケートを実施されておられますが、結果を次年度の企画に反映するとともに、参加された方の居住地をお尋ねし、居住地によるお答えの違いはあるのか、などの把握はいかがでしょうか。

3 公民館活動の推進

平成29年度の主な取組

◇成人式(1,442千円)

成人の日を迎える若者を祝い励ますと同時に、社会の一員としての自覚を深め、社会に羽ばたいてくれることを期待して開催しました。

開催日 平成30年1月7日(日)

会場 根上総合文化会館

時間 10時開式

参加者数

地区	性別	実参加者数	参加対象者数	参加率
根上	男	94人	111人	84.7%
	女	93人	107人	86.9%
寺井	男	93人	106人	87.7%
	女	87人	107人	81.3%
辰口	男	58人	75人	77.3%

	女	68人	82人	82.9%
計	男	245人	292人	83.9%
	女	248人	296人	83.8%

◇立志式 (222 千円)

14歳の少年・少女に、自ら将来に臨んで志を立て、次代を担うものとしての誇りと自覚、さらにこれを実践するための健康な心身をつくることを目標に持たせるため、実施しました。平成29年度も3中学校同時に開催しました。

○式典

日 時：平成30年2月19日（月） 14：00～
 開 場：根上総合文化会館 音楽ホール「タント」
 参加人数：根上地区 168名
 寺井地区 213名
 辰口地区 170名 計 551名

○記念講演

講 師：代表理事 山田 和夫 氏
 （特定非営利活動法人 YOU-I）
 演 題：日本を知らない日本人、日本を知っている外国人

◇総合文化祭

〈展示部門〉(154 千円)
 日 程 文化協会：11月3日（金・祝）～11月5日（日）
 一般展示：11月10日（金）～11月12日（日）
 会 場 文化協会：根上総合文化会館，根上学習センター，寺井図書館
 一般展示：根上総合文化会館
 内 容 展示を2週に分けて実施しています。1週目はいけ花，川柳などの市文化協会の作品。2週目は地区公民館，CC館，児童館，そのほか各教室，サークルの作品を展示しています。

〈発表部門〉(535 千円)

○ジュニア文化発表会

日 程 10月25日（水）
 会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」
 内 容 市内小・中学校の児童・生徒が元気いっぱい合唱や演奏を披露しました。

○市民文化・芸能大会

日 程 11月11日（土）

会 場 根上総合文化会館音楽ホール「タント」

内 容 市内の自治公民館及び市内で活躍しているサークル・団体がこの日のため
に練習してきた出し物を披露しました。

◇ 地区公民館・自治公民会協議会の活動 (21,655 千円)

○地区公民館

・根上地区公民館

期日	行事名	会場
3月6日	スポフェス企画委員会	根上総合文化会館
3月10日	根上地区スポーツ協議会	根上総合文化会館
3月23日	スポフェス実行委員会	根上総合文化会館
5月11日	スポフェス協力員会・企画委員会	根上総合文化会館
5月12日	スポフェス協力団体会議	根上総合文化会館
5月21日	スポーツフェスティバル in ねあがり	浜小学校グラウンド

・寺井地区公民館

期日	行事名	会場
6月6日	寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
5月11日	各種教養講座・趣味の教室	寺井地区公民館
6月25日	寺井地区グラウンドゴルフ大会	寺井グラウンドゴルフ場
7月9日	寺井地区クリーンデー	寺井地区一円
8月10日	スポーツフェスティバル実行委員会	寺井地区公民館
8月22日	自治公民館長及び体育部長会議	寺井地区公民館
10月1日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小グラウンド
10月8日	寺井地区一周駅伝競走大会	寺井地区一円
10月8日	寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井体育館
11月16日	寺井地区公民館運営委員会	寺井地区公民館
12月8～10日	歳末助け合い入札展	寺井地区公民館

・辰口地区公民館

期日	行事名	会場
5月26日	スポフェス実行委員会準備会	辰口福祉会館
6月24日	能美市でホテルを見よう！「ホテルの観察会」	ふるさと研修センター
7月21日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
8月9日	夏休み、手作り工作体験教室「本棚をつくろう」	能美市立博物館
8月21日	スポフェス実行委員会	辰口福祉会館
9月21日	スポフェス協力員説明会	辰口福祉会館

10月1日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場
3月24日	しいたけの植菌体験	寺井地区公民館

○自治公民館協議会

・能美市自治公民館協議会

期日	行事名	会場
2月14日	市役員会、監査会	寺井地区公民館
2月21日	市総会	寺井地区公民館
3月16日	市役員会	寺井地区公民館
4月9日	桜ウォークを主催 203名が参加	寺井小学校から博物館
7月7日	視察研修 21名参加 新幹線車両基地、いしかわ動物園 ※市並びに3地区合同の研修会として開催	寺井地区公民館
9月23日	古墳ウォークを主催 116名が参加	寺井地区公民館から秋常山古墳群
10月19,20日	公民館全国研究集会、東海北陸公民館大会、石川県公民館大会へ参加	金沢市内
11月11日	第13回能美市民文化・芸能大会に10町参加	根上総合文化会館
11月25日	秋季研修会 14名参加 陶芸創作体験 ※市並びに3地区合同の研修会として開催	九谷焼陶芸館

・根上地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月18日	根上地区役員会	根上総合文化会館
1月27日	根上地区総会	根上総合文化会館
4月12日	根上地区館長会	根上総合文化会館
5月21日	能美市民スポーツフェス in ねあがり	浜小学校グラウンド
7月29日	根上七夕まつり 踊りの夕べに参加	愛知県内名古屋他
10月25日	根上地区役員会	根上学習センター
11月11日	市文化芸能大会に参加	根上総合文化会館
12月8日	根上地区館長会	根上総合文化会館

・寺井地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月13日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
2月9日	寺井地区総会	クアハウス九谷
6月26日	寺井地区グラウンドゴルフ大会（共催）	寺井グラウンドゴルフ場
7月9日	寺井地区クリーンデー	寺井地区町内一円

7月25日	寺井地区役員会	寺井地区公民館
8月22日	寺井地区館長・体育部長会	寺井地区公民館
9月21日	秋の体育行事監督者会議	寺井地区公民館
10月1日	スポーツフェスティバル in てらい	寺井小学校グラウンド
10月8日	寺井地区一周駅伝大会 寺井地区ソフトバレーボール大会	寺井地区町内一円 寺井体育館

・辰口地区自治公民館協議会

期日	行事名	会場
1月18日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
1月22日	辰口地区監査会	寺井地区公民館
2月11日	辰口地区総会	辰口福祉会館
4月27日	辰口地区役員会	辰口福祉会館
8月23日	辰口地区館長会	辰口福祉会館
10月1日	スポーツフェスティバル in たつのくち	物見山陸上競技場

評価

○公民館

公民館は、生涯学習の拠点として様々な事業を実施しています。能美市の公民館には、大きく分けて地区公民館と自治公民館があります。

これは、この地域に相応しい形態として能美市合併以降も引き継がたもので、校下公民館を中心とした公民館活動が展開されている他の市町とは異なったものとなっています。

旧町単位の設けた3つの地区公民館は、合併前の3町社会教育部門が担っていた事業の一部を引き継いだものと、新たに立ち上げた事業に取り組んでいますが、色合いの異なる旧3町の事業運営手法を一本化する事が困難であったため、全体として合併前の異なった形態が継続されていることから、3つの地区公民館の事業量や内容に大きな隔たりに見られるのも事実です。

自治公民館は、町会・町内会を単位として設けられていますが、小さな町会・町内会が多い辰口地区では小学校単位等で複数の公民館と一緒に活動しているところもあり、地域コミュニティ形成に必要な不可欠な存在になっています。

今後も、地区公民館を中心に、自治公民館同士の交流をさらに強め、市内一丸となって地域を元気にすることが求められます。

○意見

成人式や立志式は人生の一つの区切りであるとともに、新たな自分のスタートの意味を持つ儀式であり、自らの成長を振り返りながら未来に向かって歩むことを厳粛に意識

する機会でもありますので、課題が見受けられるのであれば、企画や運営の在り方をご検討されても良いのではないのでしょうか。

展示と発表の 2 部門を設けた総合文化祭事業も、市民の日頃の活動の発表、交流の機会であり、参加者の生きがいややりがいを育てる機会になるものですが、学びの裾野の広がりや学びの成果を地域社会の中で活かす可能性についても、今後の検討を期待いたします。

町民の高度化・多様化する学習ニーズに応える生涯学習講座の実施にあたっては、どのような講座が各地区公民館で具体的に実施されているのかが把握できませんでしたが、平成 29 年度末、文部科学省におかれた「学びを通じた地域づくりに関する調査研究協力者会議」が、「人々の暮らしと社会の発展に貢献する持続可能な社会教育システムの構築に向けて（論点の整理（案）」のなかで、「地域住民が地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき地域課題とその対応について学習し、その成果を地域づくりの実践につなげる「学び」の機会として「地域課題解決学習」を提起しました。

参加者の多寡の可能性を前提としながらも、公的社会教育としての教育的意図を持った人権、高齢化、資源エネルギー、地域づくりなどに関する学習機会の提供についても今後強力に努められることを奨励します。いわば、成人対象の一定の明確な教育目的をもった「攻め」的な社会教育事業への積極的取組を通じての「地域づくり」「地域創生」「地域活性化」にいささかでも寄与する「学び」の推進です。

地域コミュニティを構成する住民の「絆」「つながり」の希薄化が各種の調査等で指摘される中、きめの細かい公民館活動は、町民の地域への帰属意識を育てる上でないがしろにはできません。国の第 3 期教育振興基本計画の中で、基本方針の 3 で「生涯学び、活躍できる環境を整える」を柱に、「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」を掲げており、住民の地道な学習が、地域づくりやまちづくり、いきがいくりにつながる可能性を持っているように、評者には思われます。

限られた職員、担当者での運営という困難さはあるかもしれませんが、地域の明日を創る「担い手」育て、「大人」育ての場として、3 つの地区公民館と自治公民館協議会、そして協議会を構成する各自治公民館における地域住民のつながり、絆づくりに資する事業や講座の開設への取組を期待します。そうした意図的な講座の開設、評者の言う「攻め」の社会教育の推進が今こそ求められているように思います。

併せて、評者が所属する金沢大学では、毎夏、社会教育主事講習を開催しており、少なくとも、地区公民館に社会教育主事有資格者 1 人を配置することについてもご検討いただけたら、と思います。

4 社会教育施設の運営

◇市立図書館（129, 335 千円）

図書館の運営方針に基づき、3館（根上・寺井・辰口）連携し、子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場として、地域に根ざした図書館づくりを目指しました。

平成 29 年度の主な取組

○ 図書館資料収集及び貸出閲覧事業

- ・幅広く市民の読書要求に応える図書資料等の選定及び魅力ある蔵書構成で、多くの利用者に図書館を活用してもらうことを目指しました。
- ・バランスのとれた資料収集と3館の持ち味を生かした資料収集を行いました。
（根上図書館：ビジネス書 寺井図書館：美術資料 辰口図書館：郷土資料）
- ・利用者が図書館を円滑に活用できるように、利用者登録・貸出・返却・予約・レファレンス等の貸出閲覧業務を実施しました。

◎利用状況（平成 30 年 3 月末統計）

- ・蔵書数：403,654 冊
- ・人口：49,921 人（平成 30 年 3 月 31 現在）
- ・登録者数：43,144 人
- ・登録率（市民）：58.7%
- ・貸出者数：112,581 人
- ・市民一人当たりの貸出冊数：7.1 冊
- ・貸出冊数：472,811 冊
- ・蔵書回転率（貸出冊数÷蔵書数）：1.2 回

○ 読書活動の推進事業

- ・図書館利用のきっかけをつくり、より多くの市民が図書館を利用できるような講座やおはなし会等の企画、運営を行いました。

◎講座・講演（短歌講座・まちづくり出前講座など）

◎年代に応じた児童サービス（ブックスタート・定例おはなし会・保育園や児童館などへの出前おはなし会・乳幼児向けのおはなし会・親子映画上映会・工作教室など）

◎保育園・小中学校との連携事業（小中学校へのブックトーク・保育園や小中学校への移動文庫・小学一年生の図書館招待・中学生の職場体験・読書スタンプラリーなど）

◎3館合同企画「クイズ de だんごしおり」の実施（10月27日～11月26日） 秋の読書月間の事業として、図書に関するクイズに答えて、正解者に職員手づくりの「だんごしおり」をプレゼント。

- ・関係機関や各種団体との連携事業

◎能美市読書会連絡協議会やおはなしボランティアと連携・協力しました。

◎関係機関と連携した展示を実施しました。

福祉課「自殺予防」・健康推進課「生活習慣病」・地域振興課「男女共同参画」
学校教育課「道徳教科書」

- 啓発・広報事業
図書館通信の発行（月1回）、時事の話題をテーマにした企画展示、年齢別図書リスト配布などを行いました。
- 職員研修
職員の専門的力量的向上を図るため、職員研修を実施しました。
8月10日「POPの書き方研修会」学校司書との合同研修
- インターネット閲覧用端末の更新
幅広い情報の提供のため、3館のインターネット閲覧端末を更新しました。

評価

- ・図書館運営方針に基づき、3館連携し「地域や住民に役立つ図書館」を目指して事業を実施しました。
- ・資料収集事業では、利用者が図書館資料を円滑に利用できるように、わかりやすく、興味を引く配架の工夫など読書環境を整えることに努めました。
- ・貸出閲覧事業では、インターネットからの予約や県内外図書館との相互利用を活用して、利用者への資料提供に努めました。
- ・児童サービスについては、「第2次能美市子ども読書活動推進計画」を基に、各年代に応じた事業を保育園や小中学校と連携して取り組みました。
- ・高齢者向けのおはなし会や大活字本の充実など、高齢者サービスにも取り組みました。
- ・職員研修の実施と研修成果を職員全員で共有することに努めました。
- ・各年代に応じた図書館サービスの実施や延長開館の実施など、利用機会の拡大を図りましたが、図書館利用の貸出人数、貸出冊数とも減少傾向にあります。新たな利用者の開拓や継続利用者の増加に向けて、図書館全体で課題を共有し解決することで、利用促進を図っていく必要があると考えます。

◇根上総合文化会館（140,197千円）

能美市の文化交流拠点と位置付け、利用促進に向けたさまざまな事業を行っています。特に日本で初めて可動音響底を採用した本格的なシューボックス型の音楽ホール「タンクト」では、市、市教育委員会の主催事業をはじめさまざまな催し物が年間を通して開催されています。

利用状況（平成29年度）

年間利用件数	2,530件	（平成28年度	2,698件）
年間利用者数	124,539人	（平成28年度	127,782人）

評価

根上総合文化会館

市内外の企業、学校、生涯学習活動団体等から、会社説明会、展示・発表会、練習、

講座を開催する際にご利用いただいています。

また、平成 25 年度よりこれまで 2 箇所に分散されていた教育委員会の機能を集約した能美市根上分室として教育行政の中核としても活用されています。

根上総合文化会館主催事業として、演芸、演劇、映画上映会、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏会等幅広い演目のイベントを開催しました。また、今年から 11 月中に各施設で行われていた様々なイベントを「能美市アットホームタウンフェスティバル 2017」に統合して開催し、市民の皆様に周知を行ったところ、非常に多くの皆様にご来場いただきました。

なお、根上総合文化会館も開館して 20 年を超えましたが、今年度も幅広い世代に喜んでいただくため、収集したアンケート結果を基に改善や創意工夫をし、取り組んでいます。利用者の皆様のご愛顧に感謝するとともに、これからも利用者の満足度が上がるような利用環境の向上、広報活動に努めます。

◇ 根上学習センター（40, 441 千円）

宇宙といん石をテーマとした「子ども宇宙科学室」、茶室「松海庵」、国際交流サロンのほか「根上図書館」を含め多様な生涯学習の場の複合施設として、幼児から高齢者までが集い学習や交流が深められるよう推進します。

平成 29 年度の主な取組

児童・生徒の科学に対する興味、関心を高めるため、主催事業においては金沢大学准教授を指導顧問に、また、教職員、星の会、根上いん石に関係する皆様には委員として、主催事業の企画運営について検討していただき事業を実施しました。

- 1 当市には自動車のトランクに落下した根上いん石があることから、市内全校小学 4 年生を対象とした「星空といん石学習」、中学 3 年生を対象とした「いん石講演会」、プラネタリウムでの星空学習などとおして、はるか遠き宇宙を身近に感じ、ひとりでも多くの児童・生徒に宇宙への関心を持っていただけるように努めました。
- 2 おもしろ科学教室、おもしろ理科教室、ガリレオクラブ等の各種教室をとおして身の周りにある多くの不思議に気づき、発見させる機会を持っていただくための、その「きっかけ」づくりが、ひいては学校教育の一助になればと、指導される先生方を中心にそれぞれの教室の運営に力を注いできました。また、プラネタリウムでの星空教室、当センター屋上での望遠鏡を使った星空観察会は、子どもから高齢者までの方々を対象に、星の会の皆様が星空の解説を行いました。
- 3 夏休み期間にはサイエンスフェスタと銘打ち、学校関係の先生方のご協力による科学の実験、実演、「科学の館・屋台店」や科学の遊び「サイエンスショー」、根上いん石の展示など、工夫を凝らした企画を行い、子どもたちに科学をより身近に楽しく感じてもらうように努めました。

評価

施設の研修室や学習室は市民の交流の場や生涯学習の場として有効に使用されており、

今後有効活用が十分に図られるよう努めていきたいと思いをします。

主催事業は、子どもたちにとって楽しみながら学べるよい機会であり、それぞれの教室をとおして科学への興味、探究的な姿勢を育てることは、身の周りにある多くの不思議発見と感動に繋がるものでありますが、残念ながら子どもたちの生活、学習形態の多様化による余暇時間の減少と学習テーマによっては参加者の固定化と減少傾向が見受けられます。

参加者の増加には、保護者への周知と理解を得ることが大事であることから、保護者参観の積極的受け入れや、事業案内の方策について主催事業企画運営委員会のご意見を頂くとともに、これからも指導者の確保に努め、事業成果に繋げていきたいと思いをします。

◇根上青年の家 (1,953 千円)・・・H29 年度

能美市内や近郊で開催されるスポーツ等の各種大会参加のための宿泊が利用者の過半数となっているので、県外の高校生の利用が最も多くなっています。市外の近隣の高校・大学からは、部活合宿での利用も見られます。

例年どおりロシア、シレホフ市との姉妹都市交流の場所として利用された他、市内の利用団体では、小学校の町内会 PTA が 5 団体、種目別のスポーツクラブ単位で 3 団体の利用がありました。

評価

施設利用団体の多くは、各種大会参加のための宿泊を主な目的としています。

このような団体も大切にしながら、施設設立の目的・趣旨に沿った利用形態での団体の利用、特に市内団体の利用増や、繁忙期以外の利用、平日の利用増を図っていく必要があります。

◇青少年ホーム (2,563 千円)

生涯学習講座やからだバランス塾、各種サークル活動の拠点として利用されています。

評価

施設名に反して高齢者の生涯学習の場として供されることが多く、講座等の主催事業の充実を図るとともに、広く多くの市民が生涯学習活動の場として利用拡大できるように努めます。

○意見

市内の根上、寺井、辰口の各図書館が、「子どもから大人まで市民誰もが読書を通じて生涯学習を深められる場」を目指し、連携しながら事業を実施したという評価は適切であると思いをします。改めて図書館は、「読書センター」であり、「学習センター」であり、「情報提供センター」であるという機能、さらには「地域創生貢献センター」的な機能を果たすことが期待されているようにも思われます。

限られた人的体制ではありますが、朗読講座やおはなし会の開催など、今後とも図書館法第3条が規定する図書館奉仕としての事業の拡充を図り、市民の皆さんの読書活動への支援、市民のための利便性の向上に取り組まれますよう期待いたします。また、場合によっては、利用者対象の図書館への期待などに関する調査も意義ある取組かもしれません。

「タント」として親しまれている根上総合文化会館が、引き続き学校、企業、様々な機関・団体等に、会社説明会、研修、展示・発表会、演奏会等の場として利活用されていることは歓迎されるべきことと存じます。今後とも、利用者や市民の皆さんのアンケート等による「声」を丁寧に拾い上げ、主催事業の企画や実施を通じて市民ニーズに応えることのできる事業展開を期待いたします。

様々な学習機能の複合施設としての根上学習センターですが、特に科学への関心を育てるため本学教員を顧問に招聘してその知見を生かそうとする取組、さらに金沢大学市・町共催講座として実施している「いん石講演会」の開催についてもありがたく思います。科学に対する興味や関心の高揚、さらには「ものづくり」への関心の高揚などに資するため、おもしろ科学、おもしろ理科、ガリレオクラブ等の各種教室や星空観察会などの企画や実施にあたっては、予算の確保、指導者の確保、実験器具の制作や調達など、何かとご苦勞がおりかと思いますが、成人対象の「科学講座」などの実施の可能性を探っていただけますと幸いです。

青年の家は、各種大会参加者の宿泊施設として利用されるとともに、県外の高校生や近隣市の高校・大学の部活合宿の利用も見受けられるとのこと、今後とも、恒常的な利用のための広報に努めるなど、少しでも利用率の向上に努められますよう願っています。

青少年ホームは、高齢者の生涯学習の場と化しつつある、とのことですが、補助金等の関係がおりかかもしれませんが、実態に応じた名称の変更についての検討はいかがでしょうか。今後とも、ホームの居住性、快適性の向上にご尽力願いたいものです。

施策4 芸術・文化の振興

文化財の保護・活用・継承と文化活動の奨励等により、芸術と文化の薫り高いまちづくりに向けて、文化意識の高揚を図ります。

1 文化財の保存と活用

平成29年度の主な取組

◇史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業（単独・継続事業・2,548千円）

①秋常山古墳まつりの開催

9月23日（土・祝）に秋常山史跡公園を会場に“能美のまほろば 秋常山古墳まつり2017”を開催しました。この祭りは、秋常山古墳群に眠る1,600年前の大王、巫女に秋の実りと収穫を感謝し、能美市の今後の繁栄を祈ることをテーマとしたもので、今年で6回目の開催となります。秋常山古墳群をはじめとする能美市の古墳を幅広い世代に知ってもらい、親しんでもらうことを目的にしています。

今年は昨年度までと異なり、古代体験コーナーやステージイベント、飲食ブースなどの各コーナーを芝生広場にまとめて配置し、来場者が分散することなく1ヶ所で楽しめるよう工夫しました。また、時間帯を午後2時から5時までとして、これまで夜のライトアップやステージ演奏をメインとしたものではなく、昼間に親子が楽しく、ゆったりと古墳で過ごせる祭りになるよう変更しました。

当日は晴天にも恵まれ、古墳ボランティアが中心となって企画した勾玉作りや組紐作り、火起こし体験や「ドキドキ！ハニワ！ミニ選手権」などの古代体験コーナーは多くの親子連れで賑わいました。古墳公園内ではスタンプラリーを行い、子どもたちが楽しく古墳をめぐる様子が見られました。古墳まつりでは初めてとなる「教育・体験型移動動物園」のコーナーも大好評でした。

ステージでは栗生保育園の出演とともに、メインイベントとして毎年恒例となった栗生小学校6年生による古墳儀礼の再現を行いました。古墳時代の大王、武人、巫女に扮した子どもたちが夏休みに自分達で作った土器や埴輪を使って、当時行われたであろう古墳での儀礼を演じ、古墳に眠る大王に感謝の言葉を述べました。今年は子どもたちが歩くルートを変更し、古墳上での儀礼も異なる所作にするなど、例年とは異なる内容にしました。

儀礼の終焉とともに、幻想的な雰囲気にもまれて祭りは閉幕しました。参加者は約700名と昨年よりも多く、古墳を活かした有意義なイベントになりました。

②能美古墳群出土品の再整理

国指定史跡能美古墳群から出土した遺物のさらなる保存と活用を図るため、専門家による再実測調査や専門機関でのX線写真撮影等を行いました。調査の結果、これまで未確認であった資料が新たに見つかるとともに、最新の考古学研究に基づいた遺物の再評価を行うことができました。

◇史跡能美古墳群保存整備事業（補助、単独・継続事業・114,013千円）

郷土の貴重な歴史遺産である国指定史跡能美古墳群を適切に保存し、後世へ確実に継承するため、平成28年度に策定した『史跡能美古墳群整備基本計画書』に基づき、史跡の整備事業を進めました。今年度は、西山古墳群の公有地化と末寺山古墳群の法面保護工事を行いました。

◇和田山・末寺山古墳群保存整備事業（補助、単独・新規事業・30,898千円）

和田山・末寺山古墳群の一部に急傾斜地土砂災害特別区域があることから、地元住民の安全と史跡の保護を図るため、末寺山古墳群の法面保護工事を行いました。

◇博物館建設事業（単独・継続事業・13,410千円）

2020年度の開館を目指して、新能美市立博物館（仮称）の建設計画を進めました。今年度は、有識者や市民よりなる「能美市立博物館整備基本計画策定委員会」の指導、助言を得ながら『能美市立博物館整備基本計画書』を策定し、新博物館の基本理念や

活動方針をまとめました。さらに、本計画及び有識者や市民よりなる「新能美市立博物館（仮称）建設準備委員会」の指導、助言を基に建築及び展示の設計を進めました。

また、新博物館の開館に向けたソフト事業として「みんなで作る博物館プロジェクト」を企画し、2月18日に開催されたまなびフェスタの分科会において新博物館の壁面に飾る九谷焼タイルの作成を行いました。

◇湯屋古窯跡群発掘調査事業（補助・継続事業・2,000千円）

湯屋古窯跡群は飛鳥時代の7世紀後半に操業した須恵器・瓦窯であり、これまでの調査で6基の窯が確認されています。なかでもB支群1号窯は、須恵器と瓦を併焼した瓦陶兼業窯で、その瓦が国指定史跡末松廃寺（野々市市）に供給されたことが明らかとなっており、白鳳期における古代寺院と密接に関わる生産遺跡として注目されています。また、その他の須恵器窯も以後9世紀にかけて能美丘陵上で展開される能美窯跡群の前半期に属するもので、当地域における古代窯業生産の様相を解明するうえで重要な窯跡として位置づけられます。

平成24年度より民間開発に伴う発掘調査を実施しており、今年度は出土品の整理作業（接合、復元、実測、拓本）を行い、調査成果をまとめた発掘調査報告書を刊行しました。また、出土品を公開するため、歴史民俗資料館の常設展示に加えしました。

評価

【史跡能美古墳群及び埋蔵文化財総合活用事業】

- ・古墳まつりは、各コーナーを1つの会場に集約することで、来場者の利便性を高めるとともに、まつり全体の賑わいも創出することができました。また、開催時間を昼間に変更し、古代体験を中心とした内容にすることで、小さな子どもを連れた若い世代の方々が多く来場し、古墳を知ってもらうきっかけができました。
- ・古墳ボランティアを中心に、古代体験や古墳儀礼の内容を考えていくことで、イベントのマンネリ化などを招かないよう工夫することができました。
- ・今後の課題としては、市内のさまざまな団体や地域と連携しながら活動を発展させ、より良いイベントを継続的に行っていく必要があります。
- ・出土品の再整理はさまざまな成果を得ることができました。今後の課題としては、その成果をどのようにわかりやすく伝えていくか、展示方法などを検討していく必要があります。

【史跡能美古墳群保存整備事業】

- ・西山古墳群の公有地化や墓地移転事業をおおむね完了することができ、史跡の適切な保存と管理が図られるようになりました。
- ・今後は、史跡公園として活用できるよう発掘調査などの史跡整備を進めていく必要があります。

【和田山・末寺山古墳群保存整備事業】

- ・法面の保護工事を行うことで、住民の安全な暮らしと史跡の保護を確保することが

できました。

・今後の課題としては、同様の急傾斜地が能美古墳群内に4ヶ所存在するため、それらの対策工事も早急に進めていく必要があります。

【博物館建設事業】

- ・新博物館の基本理念や活動方針をまとめた『能美市立博物館整備基本計画書』を策定し、具対的な設計を進めることができました。さらに、「みんなでつくる博物館プロジェクト」を始動し、博物館建設の機運向上に繋げることができました。
- ・今後の課題としては、博物館建設を着実に進めるとともに、市民へのさらなる周知と機運向上に繋がるプロジェクトを展開していく必要があります。

【湯屋古窯跡群発掘調査事業】

- ・発掘調査報告書を刊行し、郷土の貴重な埋蔵文化財について調査成果を公開することができました。
- ・今後の課題としては、新博物館での出土品の公開方法を検討する必要があります。

○意見

天気に恵まれての秋常山史跡公園を会場とした古墳まつりでの保育園や栗生小学生による古墳儀礼の再現、さらに古墳ボランティアの方々による企画などを通じて昨年よりも多くの方の参加が得られたとのこと、何よりかと存じます。能美市における古墳群の存在そのものが、「地域における動かざる価値」という思いがいたします。古に生きた人類の活動や生きる術に思いを馳せながら、現代の文化や暮らし、工夫の様子などへの変遷を考える機会のさらなる内容やイベントの充実を願っています。

併せて、古墳群の整備保存事業、博物館整備基本計画の策定、古窯跡発掘調査事業などの推進を通じて、地域の歴史的、文化的、学術的「財産」を様々な方法で発信してくださることを期待します。

2 博物館の活動

◇展示・教育・普及活動（823）千円

①ギャラリー展示

月	展覧名	開催期間		来館者人数
4	東孝太郎 作品展	4月 5日（水）	4月 16日（日）	598
	北國ネイチャー フォトクラブ写真展	4月 19日（水）	4月 26日（水）	391
5	ボタニカルアート	5月 2日（火）	5月 13日（土）	489
	室 和彦 水彩画展	5月 17日（水）	5月 28日（日）	586
6	能美市作家協会 絵画展	6月 1日（木）	6月 11日（日）	327
	能美市作家協会	6月 15日（木）	6月 25日（日）	371
7	北國写真連盟 能美支部展	7月 2日（日）	7月 15日（土）	586

8	夏季企画展 「能美の絵馬」展	7月25日(火)	8月31日(木)	973
---	-------------------	----------	----------	-----

※博物館は8月31日に閉館。閉館後辰口図書館ホールにて「能美野鳥の会写真展」を開催。

②教育普及事業

ふるさと講座 対象：一般

回	期日	テーマ	参加者
第1回	7月1日(土)	図録 能美市の絵馬を読み解く	22
第2回	10月15日(日)	能美市の絵馬・神社めぐり	11

博物館講座など(辰口地区公民館との共催を含む)

講座名	期日	講師	参加者
白山曼荼羅図の世界	4月20日(木)	白山市教育委員会 小阪 大	44
自然観察会 能美の野鳥を楽しもう	5月第2土曜日 8回開催	日本野鳥の会石川県支部 幹事 高 剋滋・高 文子	89
能美市でホテルを見よう	6月18日(土)	石川むしの会 会員	55
木工体験 本棚を作る	8月9日(水)	建具職人 永田 忍 地区公民館・博物館職員	11
能美の絵馬	7月30日(日)	石川県立歴史博物館 戸瀬 幹夫	30
キノコの植菌体験	3月24日(土)	小川 将友 地区公民館・博物館職員	30

団体見学の受け入れ

学校教材 市内・白山市小学校
3、6年生 6校 児童581名
一般・老人施設 331名

出前講座

5月19日(金) 能美市ってこんなところ (緑が丘)
8月1日(火) 能美市ってこんなところ (大浜町)
9月29日(金) 能美市ってこんなところ (湯谷町)
10月7日(土) 能美市ってこんなところ (倉重町)
11月4日(土) 能美市の歴史(自然) (佐野町)
1月19日(金) 能美市ってこんなところ (石子町)
3月6日(火) 能美検定対策講座
北陸先端科学技術大学院大学
3月14日(水) 能美市ってこんなところ(自然)
(東任田町)

博物館友の会

- 講演会・・・総会 講演会「白山曼荼羅の世界」
講師 白山市教育委員会文化財保護課 小阪 大
参加人数 50名
- 新年会 講演会「私どものよりどころ」
講師 博物館友の会 会員 安土 次雄
参加人数 40名

- 研修会・・・春季 日帰り研修旅行
富山県ガラス美術館、高志の国文学館
参加人数 28名
- 秋季 一泊研修旅行
兵庫県立美術館（エルミタージュ美術館展）
淡路人形座 他
参加人数 23名

- ボランティア・夏季企画展の巡視（7,8月）
蟹淵の目視観察10回 除草、ミズバショウ撤去

◇調査・収集・記録事業(393)千円

①生物生息調査

- ・蟹淵のミズバショウ撤去（4月）
- ・トミヨの保全作業・調査・専門家との協議（4月～3月）

◇その他(32)千円

のみでん広場のライトアップ

期間：4月1日（金）～15日（金）

評価

今年のギャラリー展示は、博物館が8月30日で閉館する影響を受け、4月から8月までの間で、7つのグループの展覧会と博物館の夏季企画展のみの開催となりました。博物館の閉鎖ということで、昔をなつかしんだ市民の方が多く来館してくださったように思います。しかし、博物館の企画である夏季企画展は昨年よりも入館者が減る結果となってしまいました。

夏季の企画展では、能美郷土史の会協力のもと「能美の絵馬」と題し能美市内の神社へ奉納されている絵馬を紹介する展示としました。能美市には、72箇所もの神社が現

存しており、それぞれの神社に住民の願いが込められた絵馬が奉納されています。絵馬を神社に奉納するようになったのは、古くは飛鳥時代からともいわれ、そのころは生きた馬を神社へ奉納することもありました。時代が新しくなるに伴い、生きた馬から絵や陶器で表した絵馬が各地で作られ奉納されるようになりました。

近年、神社の老朽化による建て替えに伴い、絵馬の整理・破棄を行う町会が何か所かみうけられ、貴重な歴史資料ともいえる絵馬が粉碎され、破棄されるようになりました。事態を重くみた能美郷土史の会が、神社をまわり、能美市の絵馬の調査を行いました。

今回の夏季展示では、調査結果を発表すると共に、神社ごとに保有する絵馬をまとめた報告書を発行しました。展示室では、5町会の神社から7点の実物の絵馬を借用し、神社にかかっている状態で、展示しました。見学された方から、貴重なものを見れたと好評を得ることもできました。ミニコーナーとして「絵馬」に願いを書くコーナーを作り、木製の掛け所も造りました。厚紙で作った絵馬に、紐をとおして「掛け所」にかける動作が、子供達には面白かったようで、親子連れに好評でした。

同じくミニ展示として、博物館の39年間の歴史を年表、写真、発行物を使い展示しました。見学された方から、「懐かしい」、「この建物がなくなり残念だ」と感想をいただくこともできました。

小学校からの団体見学では、例年1月から2月に行われていた「民具」の見学を、学校側の判断で、4月から順次見学に来ていただきました。市内の小学校の他に、白山市の小学校からも見学に来ていただくことができました。

また、出前講座のお申込みも多くいただき、「能美市全体が博物館」という思いで、今後も出前講座を積極的に行って行きたいと思えます。

企画展やイベントの感想では、概ね良い評価をいただいた反面、来館者数が伸び悩んだことは反省すべきと考えます。ポスター、広報、SNSなどの宣伝媒体を使った周知活動、様々な方に向けてのよりわかりやすい解説などが必要だと感じました。

また、現在博物館にある資料の再整理を行い、どのような資料がどれくらいの量であるのかを把握し、資料の死蔵のないよう活用していくことも課題と考えます。

○意見

能美市博物館は、4月から8月までの期間を限ったギャラリー展示、ふるさと講座、博物館講座、見学受け入れ、出前方式による「届ける博物館活動」、さらに友の会活動などを通じた事業により、教育施設としての博物館の機能と役割を発揮しようとしているとともに、発信についても努めようとしていることをうかがい知ることができます。

そういう意味におきましても、能美郷土史会の協力による「絵馬」の収集、保存、調査活動及び報告書の作成は貴重な取組であると思えます。

今後とも、創意・工夫ある事業の展開を期待するとともに、SNS等による広報等についても積極的に取り組まれてははいかがでしょうか。

3 文化振興

平成 29 年度の主な取組

◇文化連盟・協会（4,200 千円）

文化活動を行う各種団体相互の連絡を図り，連携して文化向上に寄与することを目的とします。加盟協会は計 38 協会。

◇民俗芸能保存伝承（620 千円）

郷土芸能の保存・伝承に取り組むことにより，後継者の養成，地域社会の活性化，世代間交流の回復に寄与することを目的とします。保存会は計 15 団体。

評価

文化連盟・協会への補助を行うことで，経済基盤が脆弱な団体の活動が活発になっています。文化祭や美術展，発表会などで市民に成果を発表することで，市民の文化意識が向上しています。

小中学生対象に年 2 回行っている席書大会や，市民からの作品を募集して発刊する文芸能美など，連盟・協会員以外の方が参加できる機会をもうけることにより，市全体の文化発展に寄与しています。文芸能美は発刊第 13 号となりました。文化活動を通じての市の発展と活性化がますます期待されます。

民俗芸能保存会への補助を行うことで，教室や練習会を開催できています。研鑽した日頃の成果を能美市の祭りやイベントなどで積極的に披露することで，伝統文化を守り伝えていきます。

○意見

文化は，地道な活動の継続により花開くという側面を持っていることから，市の文化連盟・協会加盟の 38 協会や民俗芸能保存伝承 15 団体への支援は，当該組織・団体の活動基盤の強化や市民の間に文化的雰囲気醸し出していることは紛れのないことでありますので，引き続きの予算措置等を願っています。

特に評価欄には記されておりませんが，各協会や構成団体の担い手の高齢化や後継者不足にいかに対応するかなどの課題がおりかと存じますが，団体がもっている魅力，「良さ（有るもの）探し」をしながら，地道に着実な活動を推進して少しでも活動の裾野が広がるよう願っています。

施策 5 生涯スポーツの推進

市民の運動やスポーツのニーズに応じ，市民一人ひとりが自己の生活や目的にあった形で，スポーツを楽しむライフスタイルの構築を目指し，誰もが気軽にスポーツやレクリエ

ーションなどの運動に親しめる、安全で効果的なスポーツの環境づくりを積極的に進めました。

1 競技スポーツの充実・強化

平成 29 年度の主な取組

◇県民体育大会への選手派遣 (3,539 千円)

金沢市を主会場に開催された「石川県民体育大会」に能美市を代表して参加する選手を派遣するための補助を行いました。猛暑の中、金沢市を中心とした各会場では熱戦が繰り広げられました。男女ともに総合 5 位であり、地元開催だった前回大会よりも順位は下がりましたが、選手は一丸となって健闘してくれました。

◇能美市民体育大会 (749 千円)

広く市民の間にスポーツを振興し、スポーツ精神の高揚と選手の発掘と育成強化を図ることを目的に、6 月を中心に市内各施設を利用して開催され、今年度は 25 競技が開催され、その運営補助を行いました。

◇全日本競歩能美大会 (9,878 千円)

アジア最高峰の大会である「アジア陸上競技選手権大会 20 k m 競歩」を兼ねるとともに、「第 12 回日本学生 20 k m 競歩選手権大会」を併催し、「ジャカルタ 2018 アジア競技大会男子・女子 20 k m 競歩代表選手選考競技会」にも位置付けられた大会に 8 部門計 363 名のエントリーし、大会の運営費として補助を行いました。今大会において、男子一般の部で東洋大学の松永大介選手が三連覇を果たしました。石川県勢の入賞は男子中学生の部において 2 位山本優喜、6 位牧野由侑、8 位橋航生、女子中学生の部において、4 位塩本怜花の合計 4 名でした。

期 日 平成 30 年 3 月 18 日 (日)

場 所 日本陸上競技連盟公認能美市営 20 k m コース (往復 2 k m)

◇第 60 回記念全国銃剣道能美大会 (1,800 千円)

地方で開催される唯一の銃剣道競技の全国大会として、全国各地から自衛隊や一般、高校生の精鋭が集まる大会です。平成 29 年度は全国から 165 チーム、978 名が出場し、団体の部、個人の部でそれぞれ日本一を目指しました。

競技自体が特殊なことから、市銃剣道協会が中心となり開催され、大会運営の補助を行っています。

評価

県民体育大会への選手派遣及び市民体育大会については、競技力の向上強化や市民のスポーツ競技への関心と振興を図るための運営費として、能美市体育協会へ補助金とし

て交付しているものであります。県民体育大会は、金沢市を主会場として開催されました。地元開催であった、前回大会ほどの好成績は残すことはできませんでしたが、能美市体育協会を始めとした各単位協会が力を入れて臨み、男子・女子ともに総合 5 位と健闘しました。次回大会は主会場が遠方の輪島市であり、また例年よりも 1 週間遅れのお盆直前の開催ということもあって、参加選手の減少が予測されるため今大会の成績を維持することを目標に取り組んでいきます。

全日本競歩能美大会及び全国銃剣道大会は、全国大会でありながら特殊性があり、馴染みの薄い競技ではあるものの、競技レベルは非常に高いものとなってきました。第 39 回全日本競歩能美大会において地元松が岡出身の鈴木雄介選手が世界新記録を樹立したことにより国内外から非常に注目される大会となりました。また、選手や大会関係者からは、能美市の大会運営や応接について、高い評価を得るなど能美市の知名度アップに大きく貢献しています。今回から市観光物産協会と協力し、市内の特産品を加工した土産物を販売するブースを設けました。県外から選手や関係者が土産物を購入する姿がみられ、市内の特産品を全国に P R することができました。

これまで、市民が大会に関われる仕組みづくりや競技の周知方法が課題となっていました。そこで平成 27 年度より、競歩にヒントを得たウォーキング法である「スマートウォーク」を考案し、市民への普及を目指しています。競歩に準じた歩き方から、姿勢の矯正やケガ予防からの健康増進はもとより、競歩競技への興味関心を高めることをねらいとしています。

銃剣道大会については、全国でも数少ない全国大会でありながら、競技自体の知名度が低く、毎年周知しているものの、応援等で来場する人数が少ないことが課題となっています。その課題解決として、第 60 回大会を記念し、銃剣道と自衛隊の繋がりを活かした陸上自衛隊第 10 音楽隊の演奏会を銃剣道大会前夜祭として開催しました。会場となった根上総合文化会館音楽ホールは、音楽隊の洗練された演奏や市出身者のソロ演奏、地元高校生との合同演奏等で拍手に包まれました。

次年度は各主催大会で観客の増加を目指した取組みを検討し、より市民に身近な大会づくりを目指します。

○意見

金沢市を会場として開催された県民体育大会での総合 5 位、おめでとうございます。全日本競歩大会は、競技レベルの高さを国の内外に発信する場となっていますし、銃剣道大会ともども、能美市にしっかりと定着した大会となっています。大会の運営や応接に、高い評価を得るとともに、市内の特産品の販売ブースの設置などの「能美市」のアピールに効果があったのではないかと思います。すでに取組済みかもしれませんが、そうした機会に、「ふるさと納税」への強力を呼びかけるなど、今後とも、市民や国民の間にこれら競技の認知度を高める工夫をさらに期待するものです。

2 生涯スポーツの普及・振興

平成 29 年度の主な取組

◇ジュニアスポーツクラブ活動（3,400 千円）

スポーツを通して健全な青少年の育成を図るとともに、各競技の技術力の向上及び底辺の拡大を図るため、市内 45 クラブの活動を支援しています。

また、各クラブ間の連携、交流や親睦を図るためのリーダー研修やスポーツ交流大会を開催、指導力の向上を目的に指導者研修会を開催し、クラブ全体の円滑な運営を図っています。

◇高齢者健康クラブ活動（785 千円）

運動の機会の少なくなる高齢者の方々に健康、体力保持を目的として開催する教室であり、市内 3 クラブ 126 名の高齢者が 3 会場に分かれ、ダンスや体操を行っています。県の交歓大会や普及育成研修会等に参加する等、3 クラブはもとより市外の健康クラブとも交流を図っています。

◇能美市スポーツ推進委員会（1,504 千円）

地域に密着したスポーツ推進活動を行っており、主にニュースポーツを中心とした生涯スポーツの普及に力を入れ、「だれでも」「どこでも」「いつでも」「いつまでも」をスローガンにスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。今年度は小学校の親子レクリエーションにはじまり、町会や企業のスポーツレクリエーションとして、ニュースポーツの出前講座を 10 回開催しました。また、全日本競歩能美大会などのスポーツイベントの運営にも協力しました。

評価

ジュニアスポーツクラブ活動について、自主財源の確保について協議を行い、補助金に頼らない自立化を目指す方向性を指導しました。また、次年度は役員改選の年に当たるため、現状より加盟クラブの協力を得られる体制づくりについて協議しました。高齢者健康クラブについて、今年度は能美市単独の交歓大会を開催しました。普段市内の 3 クラブは別々に活動をしており交流する機会も少ないため、親睦を深める意味でも良い交流大会となりました。今後も会員の生きがいとなるようなクラブ活動になるよう役員と協力して取り組んでいきます。

能美市スポーツ推進委員会について、出前講座を中心としたニュースポーツの普及を図っています。その需要は年々高まりつつあり、子供から高齢者まで幅広い年代で生涯スポーツに親しみたい方から依頼が来ております。今後も継続して出前講座を続けていく中で、出務していただいているスポーツ推進委員のモチベーション維持が課題として挙げられており、委員にとってもやりがいのある事業になるよう取り組んでいきたいと考えております。

○意見

子どもから高齢者にいたる多くの市民が、生涯にわたって自分なりに親しむことのできるスポーツを持つことは、生きがいつくりや健康・体力づくり、生涯スポーツの普及・振興につながるものです。

市内46のジュニアスポーツクラブ活動への支援、市内3つの高齢者健康クラブへの支援及び合同交歓大会の開催、さらには市スポーツ推進委員会による出前講座の開催など、今後とも生涯スポーツの裾野の拡がりへの支援の継続は、地域団体の「育成」という視点からも大切なことと思われます。

3 スポーツ施設の整備充実

平成29年度の主な取組

◇能美市粟生運動公園テニス場夜間照明施設新設工事

- ・照明塔新設工 N=4 基
- ・分電盤新設工 N=4 面
- ・引込開閉器版新設工 N=1 面
- ・ハンドホール設置工 N=4 基

◇能美市粟生運動公園テニス場改修工事

- ・既存テニスコート取壊し工 A=1,429 m²
- ・砂入り人工芝敷設工 A=1,393 m²
- ・人工芝敷設工(高密度) A=33.9 m²
- ・ゴムチップ舗装工 A=44.1 m²

◇能美市秋常勤労者体育センター改修工事(建築)

- ・アリーナ床改修工 A=609 m²
- ・アリーナ内壁改修工 A=314 m²
- ・男女トイレ改修工 N=2 箇所
- ・多目的トイレ改修工 N=1 箇所 他

◇能美市秋常勤労者体育センター改修工事(電気)

- ・天井照明改修工 N=15 個
- ・内部照明施設改修工 N=1 式
- ・自動火災報知設備改修工 N=1 式
- ・誘導灯新設 N=4 個 他

◇翠ヶ丘いこいの広場レストハウス屋上防水等改修工事

- ・屋上防水工 A=420.4 m²

- ・和室天井改修工 A=31.3 m²
- ・玄関軒天改修工 A=45.8 m²
- ・玄関キャノピー撤去工 N=1 式 他

◇上記工事を含め 37 件の工事, 12 件の業務委託 (実施設計等), 9 件の備品購入を実施

◎改修工事費総額 139,797 千円

◎業務委託費総額 6,807 千円

◎備品購入費総額 7,450 千円

評価

歴史民俗資料館と博物館の移設統合事業に合わせ, 既設の和田山テニスコートの機能を栗生運動公園テニスコートへ移すため, 改修工事を行いました。既存の栗生運動公園テニスコートは, アスファルト舗装されたハードコートで老朽化のためクラック等も多いことから, 人工芝を敷設し利用者への身体的負担を軽減し, 夜間照明設備 (LED) を新設することで日中に仕事などで利用できない方々も利用できるようになり, 利用者の利便性の向上や, 電気料金及び灯具交換等の維持管理費削減を図っております。

秋常勤労者体育センターは建設後30年が経過し, 経年劣化によりさまざまな箇所で損傷や老朽化が見られたため, 内部の大規模な改修工事となりました。アリーナの床は木製から体育館用スポーツフロアシートに変更することで, 従来の木製と比べクッション性が高く, ひざや腰への負担が軽減され, また, ささくれ等による怪我の防止を図りました。アリーナ内部の内壁部には, 壁にぶつかった時の衝撃を緩和する, 緩衝性の高い壁に変更し, 安全性を高めました。また, バasketゴールは昇降式のゴールに変更したことで一般とともにジュニアのBasketにも対応出来るようになりました。

男女トイレや更衣室も入口部の段差を無くしバリアフリー化するとともに, 近年の生活様式の変化に対応し, 和便器を洋便器へ取替えた他, 多目的トイレにはオストメイトを設置し, 高齢者や障がい者の方々も利便性の向上に努めました。

今回の大規模改修にて, 年少者から高齢者, 障がい者の方まで幅広い年代が安全・安心に利用出来る施設を整備することで, 健康づくりやスポーツに親しむ市民が増加し, スポーツの普及につながることを期待しています。

市内体育施設は建設後20~40年以上経過した施設であり, 経年劣化による老朽化が進み改修が必要な施設が多くなっています。

また, 現在の施設のトイレは和便器が多く, 改修に併せ順次洋式化していますが, 先行してトイレだけを洋式化することも考慮する必要があります。

上記を含め, 今後も懸念である施設の統廃合計画を勘案し, スクラップ&ビルドも含めた施設の改修計画を策定することで, 施設の延命化を図ります。また, 施設利用者が安全・安心・快適に利用出来るよう整備し, 幼児から高齢者まで男女を問わず幅広い年代が気軽にスポーツに親しめる環境を整え, スポーツの参加促進, 普及・育成につなげていきたいと思っております。

○意見

公の施設であるスポーツ施設の人工芝の敷設，LED照明の設置，施設の劣化に対応した改修工事，緩衝性の高い壁面設置，トイレ改修など公共施設の長寿命化に資する取組をなされたことと存じます。施設の改修，利便性の向上などは，未来のアスリートの発掘や育成と関わったりする場合がないとも限りません。

今後ともスポーツに親しむことのできる施設設備の整備，備品の近代化にご配慮されますことを期待します。併せて，スポーツ振興を図る上で，指導者の存在や各種スポーツ大会への出場支援は不可欠です。今後ともその拡充を期待いたします。

2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

1. 教育委員会会議

12回開催（開催日及び審議決定事項 下表のとおり）

{ 議事 35件 }

平成29年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成29年第5回 (H29. 4. 7)	議案第20号 能美市学校運営協議会委員の選任について 議案第21号 能美市コミュニティ・スクールディレクターの選任について 報告第2号 専決処分の報告について 専決第1号 能美市教育長職務代理者の指定について 報告事項 ・教育委員会事務局各課事務分担 ・平成29年度石川県教育委員会連合会定期総会 ・平成29年度市内小中学校管理職・主任等について ・平成29年度小中学校学年別人数・学級数 ・能美市ふれあいあいさつデーについて ・能美市教育委員会事務局組織規則について
平成29年第6回 (H29. 5. 9)	議案第22号 能美市社会教育委員の選任について 議案第23号 能美市文化財保護審議会委員の選任について 報告第3号 能美市博物館協議会委員の選任の報告について 報告第4号 能美市図書館協議会委員の選任の報告について 報告事項 ・平成28年度長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況

	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児童生徒数（4月現在） ・計画訪問について ・第13回能美市民スポーツフェスティバル in ねあがりについて
平成29年第7回 (H29. 6. 1)	<p>議案第24号 能美市立博物館施設条例及び能美市公民館条例の一部を改正する条例について</p> <p>議案第25号 能美市学習会館管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第26号 平成29年度能美・川北地区教科用図書採択協議会規約について</p> <p>議案第27号 平成28年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第28号 平成29年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流事業について ・長期欠席・不登校傾向の児童生徒状況 ・小中学校教職員時間外勤務状況 ・ウォークアドバイザー講習会について
平成29年第8回 (H29. 7. 12)	<p>議案第29号 能美市教職員衛生委員会規定について</p> <p>議案第30号 平成29年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度石川県市町教育委員会セミナーについて ・平成29年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会研究発表題目等の報告について ・長期欠席・不登校傾向の児童生徒状況報告（6月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（5月状況） ・新外国語指導助手（ALT）について ・第30回 JAPAN TENTについて ・加賀地区中学生意見発表会について ・高校総体等出場選手激励会について
平成29年第9回	<p>議案第31号 能美市辰口学習会館条例を廃止する条例について</p>

<p>(H29. 8. 18)</p>	<p>議案第 32 号 能美市辰口学習会館管理運営規則を廃止する規則について</p> <p>議案第 33 号 平成 29 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 34 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会研究発表題目等の報告について ・市町村教育委員研究協議会への参加について ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（7 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（7 月状況） ・9 月期の運動会の臨席について ・能美のまほろば 秋常山古墳まつり 2017 について ・第 2 回能美市ウォークイベント 能美古墳群「古代ロマン・ウォーク」について ・第 69 回石川県民体育大会の結果について ・議案第 35 号 平成 30 年度、31 年度使用小学校教科用図書（道徳）の採択について
<p>平成 29 年第 10 回 (H29. 9. 28)</p>	<p>議案第 36 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研究大会への参加について 加南地区教育委員会連絡協議会研究大会 石川縣市町教育委員会連合会研究大会 市町教育委員会研究協議会 ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（9 月 6 日状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（9 月 10 日状況） ・平成 30、31 年度使用の教科用図書（特別の教科道徳）の採択結果について ・平成 29 年度全国学力学習状況調査 能美市の結果について ・スポーツフェスティバル in てらい ・スポーツフェスティバル in たつのくち ・NHK「ふるさと自慢うた自慢」公開録音 ・第 72 回国民体育大会出場選手

<p>平成 29 年第 11 回 (H29. 10. 23)</p>	<p>議案第 37 号 能美市体育施設条例の一部を改正する条例について 議案第 38 号 能美市体育施設管理運営規則の一部を改正する規則 について 議案第 39 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認 定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（9 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（9 月状況） ・子どもマイスターウィークについて ・アットホームタウンフェスティバルについて ・能美市ゆかりのスポーツ選手交流事業の開催について
<p>平成 29 年第 12 回 (H29. 11. 20)</p>	<p>議案第 40 号 能美市体育施設の指定管理者の指定について 議案第 41 号 平成 29 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の 要求について 議案第 42 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認 定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわ教育功労者表彰（知事表彰）について ・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（10 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（10 月状況） ・新博物館について ・歳末助け合い入札展について ・いしかわ教育功労者表彰（知事表彰）について
<p>平成 29 年第 13 回 (H29. 12. 20)</p>	<p>議案第 43 号 能美市就学援助費支給取扱規則の一部を改正する 規則 議案第 44 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加 認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（11 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（11 月状況）

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年成人式について ・第 54 回歳末助け合い入札展結果報告について ・文芸能美の配布について ・第 42 回全日本競歩能美大会について ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック「マスコット投票」について
平成 30 年第 1 回 (H30. 1. 22)	<p>議案第 1 号 能美市立学校管理運営規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 2 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（12 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（12 月状況） ・能美市教職員の働き方改革の試行的取組 ・能美市内小中学校の卒業式・入学式について ・平成 30 年 能美市成人式について ・まなびフェスタ 2018
平成 30 年第 2 回 (H30. 2. 21)	<p>議案第 3 号 平成 30 年度能美市一般会計の教育関係当初予算の要求について</p> <p>議案第 4 号 平成 29 年度能美市一般会計の教育関係補正予算の要求について</p> <p>議案第 5 号 平成 29 年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員多忙化改善の「達成目標」について ・長期欠席・不登校・不登校傾向の児童生徒数（1 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（1 月状況） ・新博物館の進捗状況について ・第 70 回石川県民体育大会冬季大会について ・第 29 年度能美市体育協会表彰について ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック「マスコット投票」について ・第 41 回全日本競歩能美大会の参加申し込み状況について

平成 30 年第 3 回 (H30. 3. 16)	<p>議案第 6 号 能美市立学校における学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>議案第 7 号 能美市立学校歯科医の補充選任について</p> <p>報告第 1 号 専決処分の報告について</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席及び不登校傾向の児童生徒状況報告（2 月状況） ・能美市小中学校教職員時間外勤務状況（2 月状況） ・能美市内教職員離任式について ・平成 29 年度能美市立小中学校【学校評価】最終報告書
------------------------------	--

2 教育委員の主な活動（大会ほか各種行事など）

年 月 日	内 容
H29. 4. 3	事務局職員辞令伝達式
H29. 4. 6	市内小学校・中学校入学式
H29. 4. 7	第 5 回市教育委員会会議
H29. 4. 7	市内教職員着任式
H29. 4. 17	ふれあいあいさつデー
H29. 4. 17	第 1 回石川県市町教育長会議（金沢市）
H29. 4. 28	市体育協会総会
H29. 5. 9	石川県市町教育委員会連合会教育委員代表者会（金沢市）
H29. 5. 9	石川県市町教育委員会連合会定期総会（金沢市）
H29. 5. 9	第 6 回市教育委員会会議
H29. 5. 10	第 13 回能美市民体育大会総合開会式
H29. 5. 13	NOMI フォローアップスクール開講式
H29. 5. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 5. 21	スポーツフェスティバル in ねあがり
H29. 5. 25	市教育支援委員会
H29. 5. 27	能美中学校陸上競技大会
H29. 5. 31	寺井中学校計画訪問
H29. 6. 1	第 7 回市教育委員会会議
H29. 6. 2	能美中学校相撲大会
H29. 6. 3	福岡、粟生、宮竹小学校運動会
H29. 6. 5	辰口中学校計画訪問
H29. 6. 8	根上中学校計画訪問

H29. 6. 10	湯野小学校運動会
H29. 6. 11	第 60 回記念全国銃剣道能美大会
H29. 6. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 6. 17～19	加賀地区中学校総合体育大会
H29. 6. 21	浜小学校計画訪問
H29. 6. 24, 25	県中学校陸上競技大会
H29. 6. 28	粟生小学校計画訪問
H29. 6. 29	シェレホフ市少年親善使節団来訪(7.5 まで)
H29. 7. 3	湯野小学校計画訪問
H29. 7. 4	シェレホフ市少年親善使節団 歓迎夕食会
H29. 7. 12	第 8 回教育委員会会議
H29. 7. 15～17	県中学校総合体育大会
H29. 7. 18	ふれあいあいさつデー
H29. 7. 20	市内小学校・中学校第 1 学期終業式
H29. 7. 20	第 69 回県民体育大会能美市選手団結団式
H29. 7. 26～8. 1	能美市少年親善使節団シェレホフ市派遣
H29. 7. 28～31	寺井中学校韓国大徳中学校少年親善使節団受入(寺井中学校姉妹校)
H29. 7. 31	学校教育懇談(浜小学校, 福岡小学校, 根上中学校, 寺井小学校)
H29. 8. 1	石川縣市町教育委員会連合会教育セミナー(金沢市)
H29. 8. 4	学校教育懇談(湯野小学校, 粟生小学校, 宮竹小学校)
H29. 8. 5, 6	県民体育大会夏季大会
H29. 8. 7	学校教育懇談(寺井中, 辰口中, 辰口中央小, 和気小学校)
H29. 8. 13～16	根上中学校少年親善使節団韓国培材中学校派遣(根上中学校姉妹校)
H29. 8. 17～20	第 30 回記念 J A P A N T E N T
H29. 8. 18	第 9 回市教育委員会会議
H29. 8. 19	南加賀地区中学生意見発表大会
H29. 8. 27	夏休み席書大会
H29. 8. 31	市内小学校・中学校第 2 学期始業式
H29. 8. 31	能美市立博物館 閉館
H29. 8. 31	第 69 回石川県民体育大会能美市選手団解団式
H29. 8. 31～ 9. 7	ふれあいあいさつデー強化週間
H29. 9. 1	第 2 回県教委連教育委員代表者会
H29. 9. 9	辰口中学校運動会
H29. 9. 12	寺井中学校体育祭
H29. 9. 13	根上中学校運動会
H29. 9. 16	小学校運動会(寺井, 辰口中央, 和気小)
H29. 9. 23	秋常山古墳まつり

H29. 9. 28	第 10 回市教育委員会会議
H29. 9. 29	平成 29 年度市町村教育委員研究協議会（富山市）
H29. 9. 30	能美中学校新人大会
H29. 10. 1	スポーツフェスティバル in てらい
H29. 10. 1	スポーツフェスティバル in たつのくち
H29. 10. 2	辰口中央小学校計画訪問
H29. 10. 12	宮竹小学校計画訪問
H29. 10. 13	石川縣市町教育委員会連合会研究大会（内灘町）
H29. 10. 16	ふれあいあいさつデー
H29. 10. 23	和気小学校計画訪問
H29. 10. 23	第 11 回市教育委員会会議
H29. 10. 25	平成 29 年度加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
H29. 10. 25	能美市総合文化祭（小学校ジュニア文化発表会）
H29. 10. 30	根上中学校計画訪問 B
H29. 11. 2	寺井中学校計画訪問 B
H29. 11. 3	能美市表彰式
H29. 11. 7	辰口中学校計画訪問
H29. 11. 10～12	能美市総合文化祭（展示部門・一般展示）
H29. 11. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 11. 15	学びの組織的実践推進事業研究発表会
H29. 11. 20	第 12 回市教育委員会会議
H29. 11. 18	第 10 回子どもマイスター賞表彰式
H29. 11. 27	第 3 回教委連理事会及び市町教育長研修会（金沢市）
H29. 11. 29	寺井小学校計画訪問
H29. 11. 30	福岡小学校計画訪問
H29. 12. 8～10	第 54 回歳末助け合い入札展
H29. 12. 15	ふれあいあいさつデー
H29. 12. 20	第 13 回教育委員会会議
H29. 12. 22	市内小学校・中学校第 2 学期終業式
H30. 1. 7	成人式
H30. 1. 9	市内小学校・中学校第 3 学期始業式
H30. 1. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 1. 22	第 1 回市教育委員会会議
H30. 2. 2	能美市総合教育会議
H30. 2. 6	平成 29 年度石川縣市町新任教育委員研修会
H30. 2. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 2. 17～18	第 70 回石川県民体育大会冬季大会

H30. 2. 18	まなびフェスタ 2018
H30. 2. 19	立志式
H30. 2. 21	第 2 回市教育委員会会議
H30. 3. 9	市内中学校卒業式
H30. 3. 15	ふれあいあいさつデー
H30. 3. 16	第 3 回市教育委員会会議
H30. 3. 16	市内小学校卒業式
H30. 3. 18	第 42 回全日本競歩能美大会
H30. 3. 22	第 2 回総合教育会議
H30. 3. 23	3 学期終業式
H30. 3. 29	能美市教職員離任式

評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会として、委員自らが重要な責務を自覚しつつ、職務遂行に必要な知識の習得・研修に取り組みました。

引き続き多様化する教育ニーズに対応し、能美市教育行政の基本方針である『地域に根ざし 豊かな未来を拓く 人づくり』の実現に向けて、教育の充実・振興に努め市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明しつつ、更なる教育行政の推進に努めています。

〇意見

改めて申すまでもありませんが、自己点検・自己評価は、地域住民に対する説明責任を果たすことであるとともに、評価結果を新たな施策の推進に活かし、その利益を地域住民が享受できるような仕組みづくりに向けたものであることを切に願うものです。

行政には、限られた予算をどの事業に何のために配分し、どのような成果が得られる可能性があるか、という自己分析を行い、メリハリのきいた事業展開が求められます。一般にPDCA サイクルといわれますが、教育事業には、効率だけでは判断し得ない面があることを首肯しなければなりません。教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律上、およそ教育全般にわたる職務権限を有する行政委員会です。市の総合教育会議と教育委員会とが十全にその機能を発揮しながら、能美市の教育活動のさらなる活性化、まちとしての能美市の魅力の掘り起こしや発信に資するような教育事業の展開に期待するものです。

すでにご承知のことかと思いますが、平成 30 年度からの国の第 3 期教育振興基本計画において、「夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」や「生涯学び、活躍できる環境を整える」などが基本的な方針として掲げられています。こうした動向を注視しながら、教育施策のさらなるブラッシュアップを図っていただきたいと存じます。教育という営みは、当然のことながら長きにわたるものであり、すぐに成果を見出すことができにくいものではありませんが、教育施策のありようが、ひと育て、地

域創生に大きくかかわっているということを再認識しながら，今後とも教育に関する事務の管理及び執行に心がけられますよう祈念し，評価を終えての言葉といたします。